

令和6年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

第1回幹事会

開催日時 令和6年8月5日（月）16:00～18:00
開催場所 四日市商工会議所 3階大会議室（オンライン併用）

1 議事次第

- ・議決事項 第1号 令和5年度歳入歳出決算について・・・・・・・・・・資料1
- ・議決事項 第2号 幹事会会員の変更について・・・・・・・・・・資料2
- ・議題 第1号 今年度スケジュールについて・・・・・・・・・・資料3
- ・議題 第2号 令和5年度補正・令和6年度スマートシティ実装化支援事業について・・・・・・・・資料4
- ・議題 第3号 スマートシティ実装化支援事業の進捗状況報告・・・・・・・・・・資料5
- ・議題 第4号 ワーキンググループ（WG）の実施報告・・・・・・・・・・資料6、7
- ・議題 第5号 その他報告事項について・・・・・・・・・・資料8

2 各議題の説明

議決事項 第1号 令和5年度歳入歳出決算について

四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る令和5年度収支決算について、協議会の承認を
得ようとするものです。詳細は資料1をご参照ください。

議決事項 第2号 幹事会会員の変更について

令和6年4月に、中部電力株式会社（以下、中部電力）の黒木 信彦氏から本協議会への再参加申
込書が提出されました。当協議会としては、中部電力が本協議会で実現を目指すエネルギー関係の取組
などにおいて重要な役割を果たせるものとして、幹事会に参加することを提案いたします。詳細は資料
2をご参照ください。

議題 第1号 今年度のスケジュールについて

今年度のスケジュール案を状況に合わせて更新しております。詳細は資料3をご参照ください。

議題 第2号 令和5年度補正・令和6年度スマートシティ実装化支援事業について

本年3、6月に、国土交通省都市局公募の「令和5年度スマートシティ実装化支援事業（補正予
算）」及び「令和6年度スマートシティ実装化支援事業」に、四日市市中央通りにおける実証計画案
を提出し、補助事業として採択されました。詳細は資料4をご参照ください。

議題 第3号 スマートシティ実装化支援事業の進捗状況報告

前回（令和5年度第3回）幹事会以降、スマートシティ実装化支援事業の進捗について説明しま
す。詳細は資料5をご参照ください。

議題 第4号 ワーキンググループ（WG）の実施報告

本年度、データプラットフォームWG及びモビリティWGを各々1回開催いたしました。WGの実施状況
についてご説明します。詳細は資料6、資料7をご参照ください。

議題 第5号 その他報告事項について

今年8月に、四日市市まちづくりハッカソンを行います。詳細は資料8をご参照ください。

3 資料

資料0：令和6年度第1回幹事会次第（本紙）

資料1：令和5年度歳入歳出決算について

資料2：幹事会会員の変更について

資料3：今年度のスケジュールについて

資料4：令和5年度補正及び令和6年度スマートシティ実装化支援事業採択について

資料5：スマートシティ実装化支援事業の進捗状況について

資料6：データプラットフォームWGの実施状況について

資料7：モビリティWGの実施状況について

資料8：四日市市まちづくりハッカソンについて

別添1：出席者名簿

別添2：席次表

以上

議決事項 第1号

令和5年度 歳入歳出決算書(案)

【歳入】

(単位：千円)

款	項	目	当初 予算額	補正 予算額	決算額	繰越額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
国庫補助金	補助金	補助金	50,000	15,000	50,000	15,000	0	スマートシティ実装化支援事業
構成員負担金	負担金	負担金	84,700	30,636	80,854	34,482	0	四日市市負担金
繰越金	繰越金	繰越金	0	0	0	0	0	
諸収入	雑入	雑入	0	0	0	0	0	
合 計			134,700	45,636	130,854	49,482	0	

【歳出】

(単位：千円)

款	項	目	当初 予算額	補正 予算額	決算額	繰越額	不用額	備 考
運 営 費	会議費	会議費	0	0	0	0	0	
	事務費	事務費	0	0	0	0	0	
事業費	事業費	事業費	134,700	45,636	130,854	49,482	0	
予備費	予備費	予備費	0	0	0	0	0	
合 計			134,700	45,636	130,854	49,482	0	

議決事項 第1号 令和5年度 歳入歳出決算書（案）経費内訳

（単位：千円）

事業名	実行計画に基づく事業に要する経費	
	国庫補助金	その他
①利活用空間活性化ツールの構築	34,000	51,140
②四日市版MaaS(Phase-1)の構築	7,000	8,600
③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	6,000	18,174
④中央通りにおける3D都市モデルを活用した プランニング/マネジメント・ツールの構築	3,000	2,940
小 計	50,000	80,854
合 計	130,854	

令和5年度 監査報告書

四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る令和5年度収支決算について、関係帳簿及び証拠書類を調査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和6年 6月3日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

監査委員 四日市商工会議所

山下 一三夫 

令和5年度 事業報告書

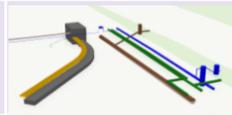
四日市スマートリージョン・コア推進事業

- 【利活用空間活性化】 中央通りにおけるデータ収集・初期精度検証、ポータルサイト等インターフェイスの構築によるデータの視覚化
- 【四日市版MaaS】 デジタルスタンプラリー、公共交通、自動運転バス等との連携による、回遊促進とまちづくり連動
- 【沿道空間利用マネジメントシステム】 システムの検討、地域住民等との意見交換、沿道空間等の基礎調査の実施による、低未利用地とニーズの整理
- 【メタバース活用】 クラウド版メタバースの開発、メタバース上での市民参加型イベント開催・空間体験会の実施による、市民交流への期待度の可視化
- 【デジタルインフラ台帳】 中央通りの一部区間におけるデジタルインフラ台帳の作成、インフラ管理者へのヒアリングによる、ニーズと課題の整理

■ 実証実験の内容

	実験の仮説	令和5年度の実施内容
① 利活用空間活性化ツールの構築	利活用空間におけるイベント開催等に伴う歩行者や車両に関するデータを収集、情報発信することにより、活用状況と賑わいづくりを関連づけることで、中央通りに歩いて訪れる機会が増加し、賑わいが創出される	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今年度整備された利活用空間4箇所における人数カウント・属性(性別・年代)・混雑(賑わい状況)を計測するAIカメラ、交差点1箇所における車両の台数カウント・渋滞を計測するAIカメラを設置し、初期精度検証を実施 ✓ ポータルサイト、デジタルマップ、ダッシュボードの構築およびデータ連携を実施
② 四日市版MaaSの構築	目的地的PRや地域サービスとの連携による来訪の動機づけを行うとともに、公共交通、新たなモビリティ、商店街と連携することにより、公共交通の利用促進とまちの賑わいを創出する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動運転等実証実験に併せて11/1～11/19にデジタルスタンプラリーを実施 ✓ 公共交通(バス)・自動運転バスの情報や周辺のスポット・イベント情報を表示 ✓ ルート案内機能(Google mapと連携)
③ パーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	<p>沿道空間利用マネジメントシステムの構築</p> <p>メタバースを用いた市民参加型イベント事業</p>	<p>利活用空間及び中央通り周辺の未利用の土地・建物の空間ポテンシャルを可視化、空間を使いたい人と使ってほしい人をマッチングすることにより、沿道空間の活用が進み、資産価値向上、中心市街地の活性化に繋がる</p> <p>メタバース空間における市民参加型イベントの開催により、市内在住者、遠方居住者等、様々な人々が将来像を疑似体験し、市政の理解、パーチャル空間での交流人口の増加に繋がる</p>
④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメントツールの構築	中央通り再編に伴い地下インフラのデジタルインフラ台帳を作成することにより、埋設物照会作業、施工協議の負担を低減、インフラ維持管理業務、災害時対応の効率化に繋がる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中央通りの一部区間におけるデジタルインフラ台帳作成 ✓ 地下埋設物の関係者(地下埋設物事業者(電気、ガス、通信、上下水道)、道路管理者、公園管理者等の関係者)へのニーズ・課題のヒアリング

■ 実証実験で得られた成果・知見

得られた成果・知見(令和5年度)	成果の一部
<ul style="list-style-type: none"> ・過去の実証からの知見や、設置場所の特性、製品・システム仕様から、必要なカメラ台数、検知方法、設置条件を設定し、初期精度検証を実施。歩行者の混雑検知は安定的な精度で判定できること、人数カウントや属性検知は画角奥や雨天での精度が低くなる傾向、車両の台数カウントはレーン単位での画角調整、AIによる渋滞検知は人の目での判断と差があることを確認した。今後検証を継続し、適宜台数や検知/設置方法を見直す。 ・ポータルサイトやダッシュボード、デジタルマップでは、スマート・インフラから得られたデータを活用し、情報発信基盤および可視化基盤を構築できた。 	 
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果等から、回遊性の向上(スタンプ5個以上の取得者率42%)、多様なモビリティ利用機会の創出(モビリティ利用率49%)等の効果を確認したが、デジタルスタンプラリー参加人数(174人)は目標値に届かなかった。 ・四日市版MaaSの利用者を増やすためには、ビジネスパーソン等のターゲットを絞ったうえで具体的なニーズを整理し、民間サービスと連携してニーズに応じたサービスを提供することが重要である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・沿道空間の基礎調査として、一番街商店街の遊休不動産を104件調査、建物タイプ別に活用イメージを整理 ・意見交換会においては、1階が空き店舗、2階が店主の住居となっている場合もあることから、ウェブサイトの公開においては、まちづくりに寄与する主体にのみ閲覧可とする方針。 ・空間活用をマネジメントする持続可能な運営主体が必要であり、令和8年度以降の運用方法を来年度検討する予定。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・空間体験会(期間中(1週間)で延べ約2,000人が参加)や、テレビ等のメディア連携(テレビ収録約70名が参加)による市民参加型イベントの実施により、一定程度の人数の方が空間を実際に体験するとともに、空間におけるアバターの操作性、新しい空間への期待などをはじめ、様々な意見の聴取ができた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・地下埋設物の関係者へのヒアリングを通じてデジタル化へのニーズと課題を確認しつつ、デジタル台帳化や全国展開を見据えた標準仕様との整合・拡張に向けた論点を検討し、中央通りの一部区間にて20m×20mの範囲をモデルとして、デジタルインフラ台帳を試作。 	

参画申込

2024年4月25日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

会長 館 英次 様

中部電力株式会社

事業創造本部部長 黒木 信彦



謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、四日市スマートリージョン・コア推進協議会の趣旨に賛同し、入会いたしたいので、ご承認くださるよう申請いたします。

弊社は、脱炭素化やDXの進展に伴う社会システムの変革に貢献するため、地域の皆さまや各セクターとの連携を大切にしながら、まちづくりへの参画、地域密着型サービスの領域拡大、エネルギーや資源の最適循環を実現する事業への参画などを通じて、「新たなコミュニティの形」の提供を加速させております。

つきましては、弊社の協議会への参画について、ご高配を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

謹白

■今年度のスケジュールについて

			令和6（2024）年度										
			現時点										
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0. PM会議（市+NS+各事業者）						○			○		○		○
1. 四日市SRC推進協議会													
幹事会					第1回幹事会 8/5				第2回幹事会 (予定)			第3回幹事会 (予定)	
データプラットフォームWG				7/10 DPFWG				○ (予定)				○ (予定)	
モビリティWG				7/23 WG				○ (予定)				○ (予定)	
2. SC実装化支援事業に係る報告													
事業者→市						キックオフ		中間報告			最終報告		
市→国				7/18 WG	○ (予定)			○ (予定)		中間報告 (1月末)		最終報告 (3/15)	
3. SC実装化支援事業													
①利活用空間活性化ツールの構築	R5補正	データ可視化サービスの効果検証	AIカメラの精度検証計画、適切な活用方法の検討		AIカメラの精度検証、コンテンツ見直しの方向性			コンテンツ見直し		コンテンツ見直し結果		実証実験結果	
	R6	実空間におけるスマートシティ取組の周知	ポータルサイトのブラッシュアップ、デジタルサイネージのコンテンツ案の計画		ポータルサイトのブラッシュアップの方向性			情報提供の実施		情報提供結果概要		実証実験結果	
②四日市版MaaSの構築	R5補正	四日市版MaaS上でのまち歩き促進サービスの効果検証	四日市版MaaSプロトタイプ準備・調整		プロトタイプ構築の方向性			事前検証		プロトタイプ構築結果		実証実験結果	
	R6	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化		ウェブサイト構築の方向性			実証実験・ヒアリング		ヒアリング途中結果		実証実験結果	
④3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築	R5補正	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化		ウェブサイト構築の方向性			実証実験・ヒアリング		ヒアリング途中結果		実証実験結果	
	R6	デジタルインフラ台帳の仕様および実装メリットの明確化	再整備済区間におけるデータ作成		データ作成の方向性			アンケート実施		データ作成結果		実証実験結果	
			施工区間におけるデータ作成		データ作成の方向性			アンケート実施		データ作成結果		実証実験結果	

様式(イ)－3

国 都 総 第 3 3 5 9 号
令 和 6 年 3 月 2 1 日四日市スマートリージョン・コア推進協議会
代表者 館 英次(四日市市副市長) 殿国 土 交 通 大 臣
(公 印 省 略)令和5年度 技術研究開発費補助金(スマートシティ実装化支援事業)
交付決定通知書

令和6年2月28日付けで交付申請のあった令和5年度技術研究開発費補助金(スマートシティ実装化支援事業)については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第6条第1項の規定により、下記のとおり交付することに決定しましたので、同法第8条の規定により通知します。

記

1. 補助金の交付の対象となる事業及びその内容は、交付申請書(以下「申請書」という。)により申請のあったとおりとする。
2. 補助対象経費及び補助金の額は、次のとおりとする。

補助対象経費	金49,482,000円
補助金の額	金15,000,000円

3. 補助事業に要する経費の配分は、申請書の負担区分欄に記載のとおりとする。
4. 補助金は概算を以て支払をしなければ事務に支障を及ぼすような場合には、国土交通大臣が財務大臣に協議をした上で概算払をすることができる。
5. 補助金の交付条件は次のとおりとする。
 - 1) 補助事業の実施について、次の各号のいずれかに該当する場合は、あらかじめ国土交通大臣の承認又は指示を受けなければならない。
 - イ 補助事業に要する経費の配分の変更(軽微な変更を除く。)をするとき
 - ロ 補助事業の内容の変更(軽微な変更を除く。)をするとき
 - ハ 補助事業を中止し、又は廃止するとき
 - ニ 補助事業が予定の期間内に完了しないとき、又は事業の遂行が困難となったとき
 - 2) 補助事業を行う者は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)及び技術研究開発費(スマートシティ実装化支援事業)制度要綱(令和3年12月20日国都市第86号)並びに技術研究開発費補助金(スマートシティ実装化支援事業)交付要綱(令和3年12月20日国都市第87号)に従わなければならない。

国都市第99号
令和6年6月21日

四日市スマートリージョン・コア推進協議会 へ

国土交通省都市局長
(公印省略)

令和6年度予算
技術研究開発費補助金（スマートシティ実装化支援事業）について

標記について下記のとおり内定したので通知する。

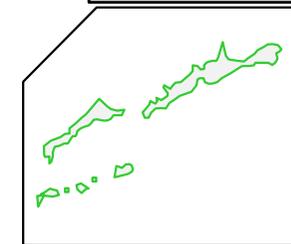
記

(単位：千円)

コンソーシアムの名称	都道府県名	市区町村名	配分額 (国費)	備考
四日市スマートリージョン・コア推進協議会	三重県	四日市市	23,000	-

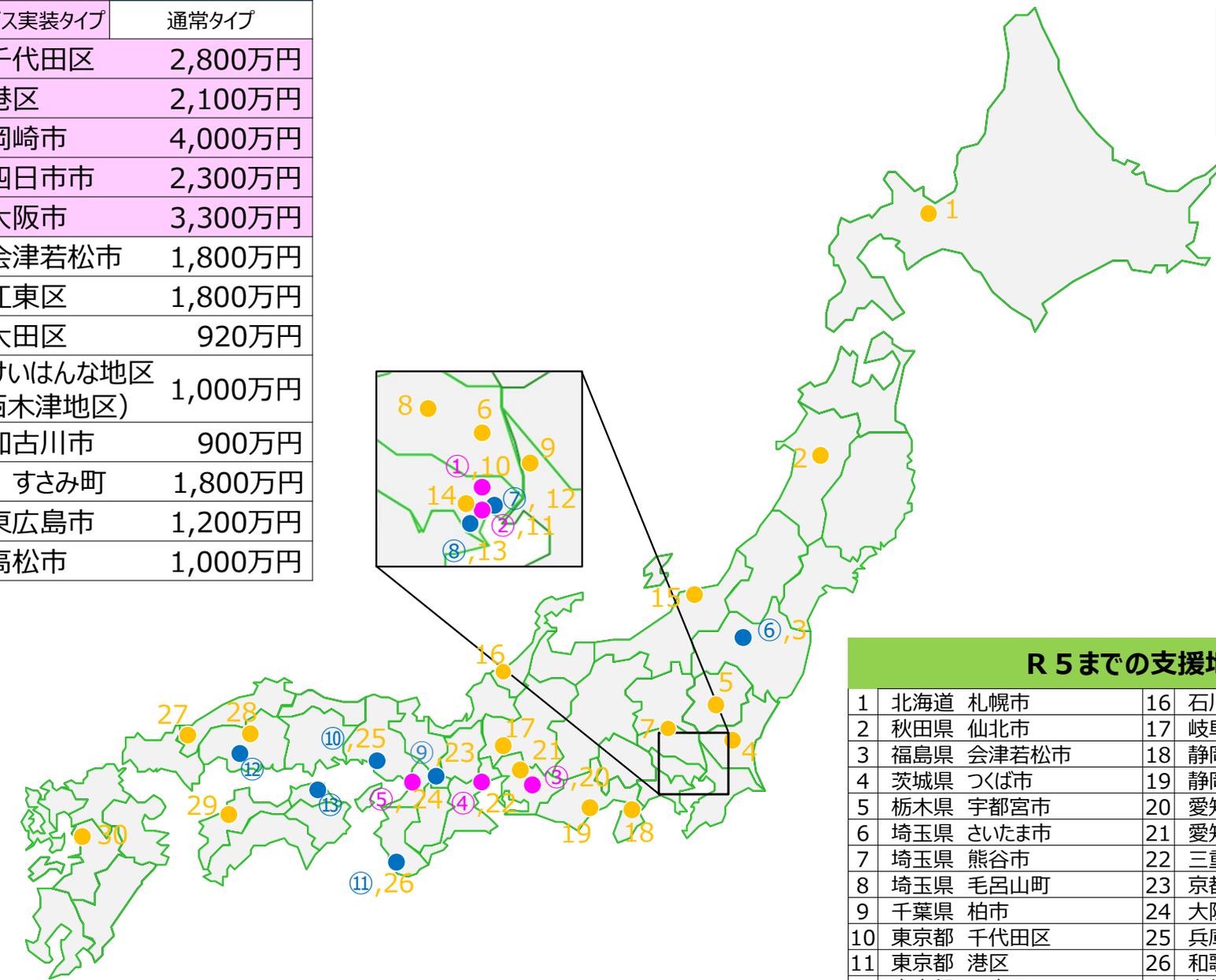
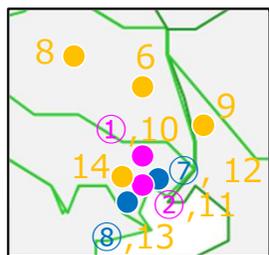
令和6年度 スマートシティ実装化支援事業 支援地区

別紙



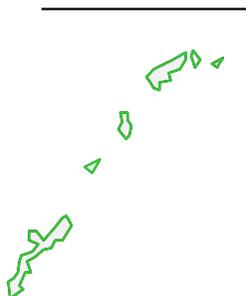
R6支援地区（13地区）

【凡例】	都市サービス実装タイプ	通常タイプ
①	東京都 千代田区	2,800万円
②	東京都 港区	2,100万円
③	愛知県 岡崎市	4,000万円
④	三重県 四日市市	2,300万円
⑤	大阪府 大阪市	3,300万円
⑥	福島県 会津若松市	1,800万円
⑦	東京都 江東区	1,800万円
⑧	東京都 大田区	920万円
⑨	京都府 けいはんな地区 (精華・西木津地区)	1,000万円
⑩	兵庫県 加古川市	900万円
⑪	和歌山県 すさみ町	1,800万円
⑫	広島県 東広島市	1,200万円
⑬	香川県 高松市	1,000万円



R 5までの支援地区

1	北海道 札幌市	16	石川県 加賀市
2	秋田県 仙北市	17	岐阜県 岐阜市
3	福島県 会津若松市	18	静岡県 熱海市・下田市
4	茨城県 つくば市	19	静岡県 藤枝市
5	栃木県 宇都宮市	20	愛知県 岡崎市
6	埼玉県 さいたま市	21	愛知県 春日井市
7	埼玉県 熊谷市	22	三重県 四日市市
8	埼玉県 毛呂山町	23	京都府 精華町・木津川市
9	千葉県 柏市	24	大阪府 大阪市
10	東京都 千代田区	25	兵庫県 加古川市
11	東京都 港区	26	和歌山県 すさみ町
12	東京都 江東区	27	島根県 益田市
13	東京都 大田区	28	広島県 三次市
14	東京都 渋谷区	29	愛媛県 松山市
15	新潟県 新潟市	30	熊本県 荒尾市



スマートシティ実装化支援事業 の進捗状況について

2024年8月
四日市市

■現時点の各事業の進捗の確認

事業名	現時点の事業の進捗	備考
事業① 利活用空間 活性化ツールの構築	<R5年度補正分> 市街地整備課からCTYに発注済み	第12回データプラットフォームWG 日 程：令和6年7月10日（水） 時 間：13時00分～15時00分 形 式：オン ライン会議 議題：令和6年度の計画について
	<R6年度分> 市街地整備課で発注準備	
事業② 四日市版MaaSの構築	<R5年度補正分> 都市計画課で発注手続き中	令和6年度第1回モビリティWG 日 程：令和6年7月23日（火） 時 間：10:00～11:30
事業③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	<R5年度補正分> 市街地整備課で発注準備	
事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築	<R6年度分> 都市計画課で発注準備	

「スマートシティ実装化支援事業計画書」 (骨子案)

(令和6年度各事業について)

1. 目指すスマートシティとロードマップ
 - (1) 目指す未来
 - (2) ロードマップ
2. 実証実験の位置づけ
 - (1) ロードマップの達成に向けた課題
 - (2) 課題解決に向けた本実証実験の意義・位置づけ
3. 実験計画
 - (1) 実験で検証したい仮説
 - (2) 実験内容・方法
 - (3) KPI
 - (4) スケジュール
4. その他

- ・ 申請書類記載内容および四日市スマートリージョン・コア実行計画をベースに再整理
- ・ 今月末にword形式で提出予定

目指す未来

○【東海圏域の活力を牽引】

県内最大の人口規模を有する四日市市は、全国有数の産業都市として、さらなる中核的役割を果たし、圏域の活力を牽引し続ける都市を目指している。

○【中心市街地における都市機能の集積と質の高い都市空間づくり】

上記を実現するために、市の顔となる中心市街地において都市機能の集積や質の高い都市空間づくりを進めている。具体的には、70mの幅員を有する中央通りを歩行者中心の空間に再編する「ニクミちよっかいち」中央通り再編基本計画、近鉄四日市駅周辺における交通結節点整備計画（バスタプロジェクト）が進められているのに加え、今後、中心市街地における新図書館の整備やJR四日市駅周辺における大学誘致など、新たな都市機能の集積を図る。

○【中央通りの再編を通じた中心市街地の活性化、「多角連携・重層型環境都市圏」の形成・強化】

中央通りを歩行者中心の空間に再編し、沿道への民間投資の誘発、官民連携によるグレードの高い管理・活用を実現し、その効果を沿道からまちなかの空間へと波及させることでリージョン・コアのまちづくりを推進する。

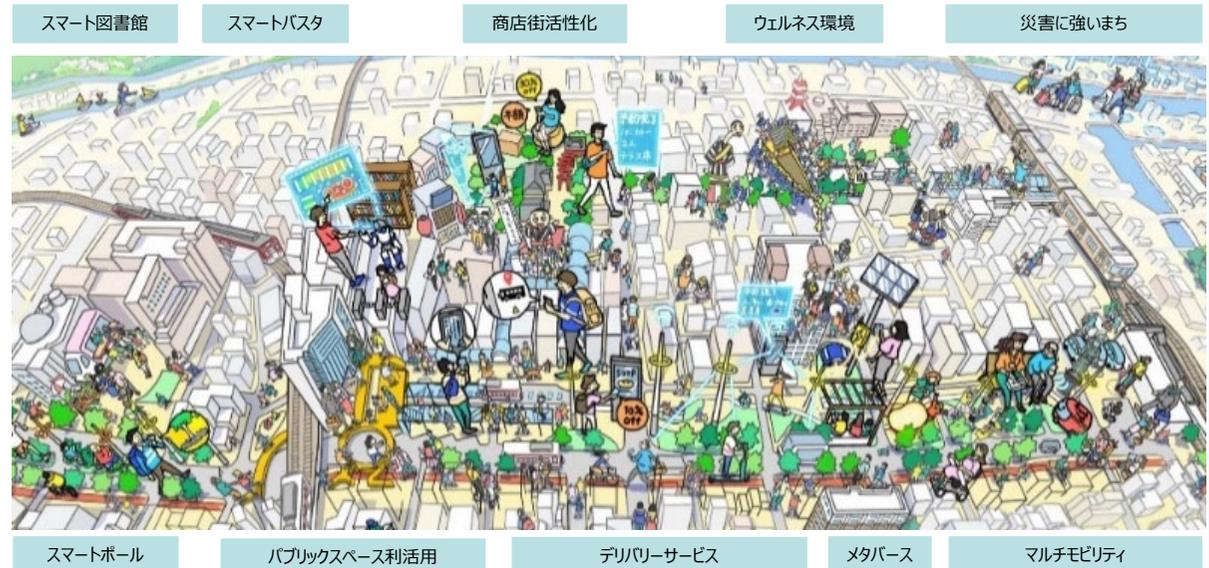
更に、都市の魅力・暮らしの質の向上、交流人口の増加、防災機能向上を進めることで、「多角連携・重層型環境都市圏」の形成・強化を行う。

四日市スマートリージョン・コア実行計画の目標

四日市スマートリージョン・コア
～都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出～

上記の未来像を目指して、四日市スマートリージョン・コア実行計画の目標を『都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出』と設定。

中央通り再編やバスタ整備という新たな都市軸の整備を契機として、新たな「市（いち）」では、市民や企業の積極的なまちづくり参加を促し、ウォークアブルな中心市街地の実現、新たな交流や価値の創出を目指す。



1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

(参考) スマートシティ実行計画取組内容の目標スケジュールと2024年3月時点での進捗状況

目標スケジュール

番号	取り組み内容	スケジュール					
		令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度 以降
(参考)	近鉄四日市駅 周辺等整備工事		近鉄四日市駅 西工区竣工	近鉄四日市駅～ 国道1号工区竣工	全区間 竣工		
01	ウォカブル・ネットワーク、 交通結節拠点としてのスマート・ バスタの整備		与件整理・関係者調整		システム 構築		実証実験 部分実装
02	待ち時間や移動時間を楽しめる モビリティの導入		実証実験	システム構築		部分実装	全体実装
03	ウォカブル+ ウェルネス環境の展開		設計・調整		部分実装		全体実装
			センサ等の実証実験				
04	パブリックスペースの 可能性最大化		設計・調整		部分実装		全体実装
			実証実験				
05	インタラクティブな ストリートファニチャー		設計・調整		部分実装		全体実装
06	災害に強い中央通り		設計・調整		部分実装		全体実装
07	人流誘導による 商店街活性化		与件整理、 関係者調整		実証実験		部分実装
08	スマート図書館				設計、調整、実装		
09	メタバス (デジタルツイン)		システム構築			実装 (運用開始後に段階的に拡張)	
10	データ プラットフォーム		システム 構築			実装 (運用開始後に段階的に拡張)	
11	3D都市モデル		システム 構築			実装 (運用開始後に段階的に拡張)	
					ユースケース実施		
12	スマート・インフラ		設計・調整		部分実装		全体実装

直近の進捗状況や次年度の予定

令和5 (2023) 年度の 進捗状況	令和6 (2024) 年度の 予定
—	—
ターミナル施設の機能に応じたデジタルサイネージの検討、 施設内の利用状況のモニタリングに用いるカメラの検討を 進めており、 遅れなし	管理運営事業者とともに、施設運用及びサイネージ表示内 容等の調整検討に着手
新たなモビリティの導入、四日市版MaaSなどに関する 一定の成果が得られているため、 遅れなし	自動運転の導入に向け、引き続き実証実験を予定 MaaSについては、モビリティWGで関連企業と連携しつつ、 スマートシティ実装化支援事業で事業推進を予定
新設されたスマートポールにAIカメラ、環境センサーを設 置し、取得データをマップ上で可視化するなど 一定の成果が得られているため、 遅れなし	市民公園にデジタルサイネージを設置し、市民の歩行や屋 外での活動を促す環境情報を提供
スマートシティ実装化支援事業で、中央通り沿道で活用可 能な公共空間や民間遊休不動産の基礎調査を行うなど、 一定の成果が得られているため、 遅れなし	基礎調査を踏まえ、沿道空間利用マネジメントシステムの 検討を予定
環境センサで取得したデータの可視化しており、 遅れなし	データ分析に基づくスマートミストの導入検討
太陽光発電システムの導入検討を進めており、 遅れなし	災害時の情報発信手法の検討 デジタルサイネージ導入予定のため一部実装
スマートシティポータルサイト上で人流データの可視化、 店舗情報を掲載によるマーケティングの支援を行う等、 一定の成果が得られているため、 遅れなし	スマートシティ実装化支援事業の枠組みを活用し、情報可 視化、マーケティング支援の取り組みを引き続き検討予定
令和5年10月より、よっかいち電子図書館のサービスが開 始されているため、 遅れ無し	新図書館の整備に向けた検討を予定
スマートシティ実装化支援事業の取り組みとして、メタ バスYOKKAICHIとテレビメディアを組み合わせた実証 を行う等、一定の成果が得られているため、 遅れなし	メタバスのさらなる活用方法について検討予定
データプラットフォームを基盤として、スマート・インフ ラやスマートシティポータルサイトとのデータ連携が進ん でいるため、 遅れなし	データプラットフォームWGを通じて、データプラット フォームの運用ルール等を検討予定
3D都市モデル上での将来イメージの重畳に加え、スマ ートシティ実装化支援事業の一環として、中央通りの地下埋 設インフラのデジタルインフラ台帳の構築に着手している ため、 遅れなし	3D都市モデルのデータの増強を実施するとともに、 モデルを利用したユースケースの開発に向けて検討予定
中央通りの先行整備区間においてAIカメラや環境センサー 等のスマート・インフラの整備を進めていることから、 遅 れなし	市民公園におけるデジタルサイネージの整備と、スマ ート・インフラの計測精度向上に向けた検証を予定。

1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

スマートシティ実行計画取組内容のロードマップと令和6年取組内容予定

ロードマップ

今年度取組内容

番号	取り組み内容	スケジュール					
		令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度 以降
(参考)	近鉄四日市駅 周辺等整備工事		近鉄四日市駅 西工区竣工	近鉄四日市駅～ 国道1号工区竣工	全区間 竣工		
01	ウォークابل・ネットワーク、 交通結節拠点としてのスマート・ バスタの整備		与件整理・関係者調整		システム 構築	実証実験 部分実装	
02	待ち時間や移動時間を楽しめる モビリティの導入	実証実験	システム構築		部分実装		全体実装
03	ウォークابل+ ウェルネス環境の展開	設計・調整		部分実装			全体実装
04	パブリックスペースの 可能性最大化	設計・調整		部分実装			全体実装
05	インタラクティブな ストリートファニチャー	設計・調整		部分実装			全体実装
06	災害に強い中央通り	設計・調整		部分実装			全体実装
07	人流誘導による 商店街活性化	与件整理、 関係者調整		実証実験		部分実装	
08	スマート図書館			設計、調整、実装			
09	メタバース (デジタルツイン)		システム構築		実装 (運用開始後に段階的に拡張)		
10	データ プラットフォーム	システム 構築		実装 (運用開始後に段階的に拡張)			
11	3D都市モデル	システム 構築		実装 (運用開始後に段階的に拡張)			
				ユースケース実施			
12	スマート・インフラ	設計・調整		部分実装			全体実装

令和6 (2024) 年度の予定
—
管理運営事業者とともに、施設運用及びサイネージ表示内容等の調整検討に着手
四日市版MaaSのプロトタイプにおいてまち歩きを促進するサービスの効果を検証し、提供サービスのブラッシュアップを図る (R5補正事業②)
市民公園にデジタルサイネージを設置し、市民の歩行や屋外での活動を促す環境情報を提供 (R6事業①)
利活用空間ウェブサイトにおいてマッチングを促進するために有用な物情報の検証を行い、次年度以降のシステム構築につなげる (R5補正事業③)
市民公園や中央通り公園などで環境センサーに連動したクールスポット創出の検討を引き続き実施
災害時を想定した即時的な情報提供を行う情報伝達実験を実施 (R6事業①)
スマートシティポータルサイトにおけるデータ可視化サービスの効果的なコンテンツの見せ方の検証を行う (R6事業①)
新図書館の整備に向けた検討を予定
メタバースのさらなる活用方法について検討予定
DPFWGを通じて、DPFの運用ルール等を検討予定 ハッカソン等を開催し、市民参加型のデータ利活用を検討
デジタルインフラ台帳整備範囲の拡大を実施するとともに、実証を通じて、関係者のメリットの明確化及びアクセス環境の構築方法の検討予定 (R6事業④)
市民公園におけるデジタルサイネージの整備と、スマート・インフラの計測精度向上に向けた検証を予定 (R5補正・R6事業①)

実装化支援事業ごとに次ページ以降にロードマップを示す



1. 目指すスマートシティとロードマップ

(2) ロードマップ

■データプラットフォーム

	R4(2022)年度	R5 (2023)年度	R6 (2024)年度	R7 (2025)年度	R8 (2026)年度	R9 (2027)年度
ロードマップ	システム構築	実装			運用体制の検討	サービス収益化、民間企業との連携
		ダッシュボード、デジタルマップとの連携	四日市版MaaSとの連携	沿道空間利用マネジメントシステムとの連携 (時期未定)		API公開による地域内外へのサービス拡大
実施内容／予定	<ul style="list-style-type: none"> データプラットフォーム構築 	<ul style="list-style-type: none"> AIカメラ、環境センサ等を通じてダッシュボード、デジタルマップと連携 ポータルサイト構築し、市民に公開 まちづくりアイデアソンの実施 四日市エリアプラットフォームと連動したデータ収集／分析 	<ul style="list-style-type: none"> (予定) 四日市版MaaSと連携 地域ポータルサイトの見直し まちづくりハッカソンの実施 WGにおいて、ワークショップ等を通じた「データを活用したエピソードづくり」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> (予定) 各種スマートシティサービス（沿道空間利用マネジメントシステム等）との連携 運用体制の検討・試行 	<ul style="list-style-type: none"> (予定) 運用体制のブラッシュアップ等 	

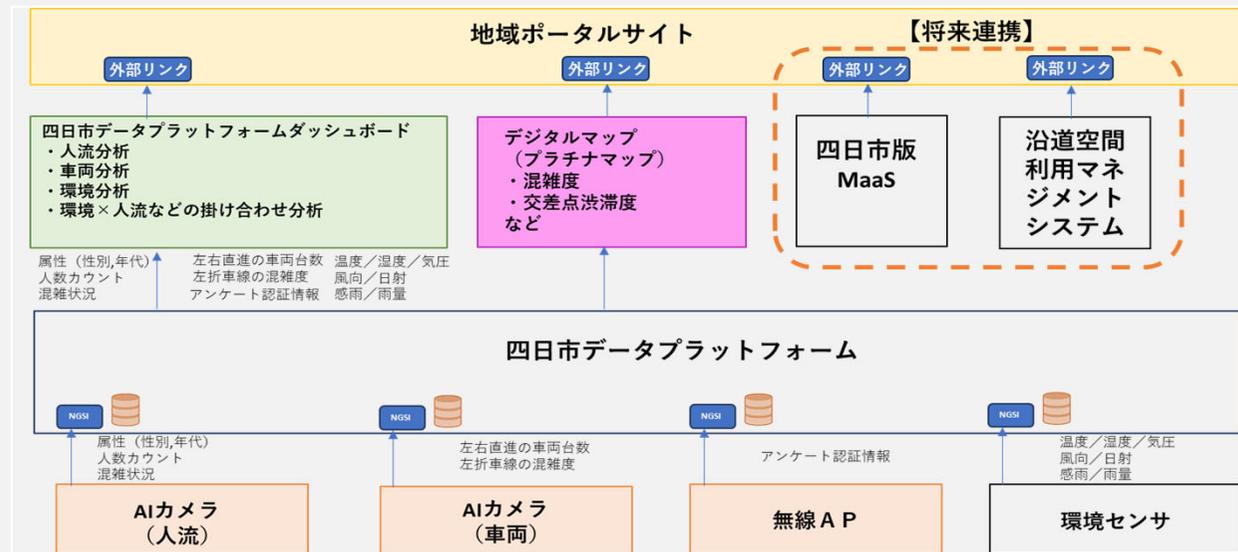
■主な取組内容

①四日市版MaaSとの連携

②市民参加型のデータ利活用を検討

まちづくりハッカソン等を開催し、データを活用したエピソードづくりから着手

四日市におけるスマートシティ（サービス）のイメージ



1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

■ 事業① 利活用空間活性化ツールの構築

	R4(2022)年度	R5 (2023)年度	R6 (2024)年度	R7 (2025)年度	R8 (2026)年度	R9 (2027)年度	
ロードマップ		スマートインフラの導入					
		AIカメラ設置	デジタルサイネージ設置	順次AIカメラ等設置拡大			
実施内容／予定		ポータルサイトの構築			データ可視化サービスの実装		
	<ul style="list-style-type: none"> スマートポールの配置・デザイン等を検討 中央通りのローカル5G導入 	<ul style="list-style-type: none"> 先行整備区間にスマートポールを設置 ポール及び照明柱等にAIカメラ、環境センサーを設置（人流、自動車交通量、気温等） 四日市DPFとのデータ連携、ポータルサイトを通じた情報発信を開始 	(予定) <ul style="list-style-type: none"> 市民公園にデジタルサイネージを設置 情報発信拠点としての有用性を検証 ポータルサイトのコンテンツ見直し 運用体制の検討 	(予定) <ul style="list-style-type: none"> データ可視化サービスの実装 			

■ 主な取組内容

① データ可視化サービスの効果検証

R5年度で設置したAIカメラ（歩行者用8台、車両用4台）の精度検証を行い（2回目）、その結果を踏まえた適切なデータの抽出・活用方法に基づくコンテンツの見直し

② スマートシティサービスの実空間

における情報提供の有用性の実証

タッチパネル型のデジタルサイネージを設置し、スマートシティサービスの情報提供を行う。日常時とイベント時の表示内容を変更し、より効果的な表示方法の検証を行う

③ 運用体制の検討

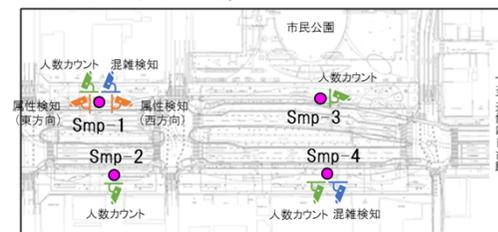
維持管理を含めた官民の役割分担、サービス収益化の可能性といった運用体制検討における課題を明確化

スマートポール (先行整備区間において竣工済)



スマート・インフラの設置概要

■ 歩行者用AIカメラの設置場所



■ 車両用AIカメラの設置場所



スマートシティ実装化支援事業の対象

設置機器	製品名	
歩行者用AIカメラ	iPro WV-S1536LUX	
車両用AIカメラ	AXIS P5655-E PTZ	
環境センサ(気象計)	POTEKA	
環境センサ(雨量計)	POTEKA	
Wi-FiAP	Cisco Meraki MR86	
L5GGW	XC-WN930J-01	

1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

参考：ダッシュボード データ連携および可視化

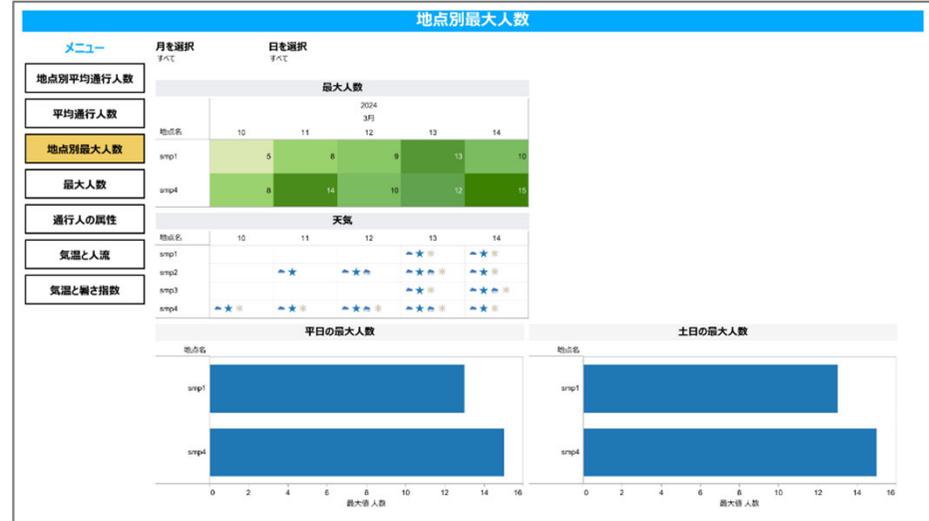
地点別平均通行人数

地図上に平日の平均通行人数、土日の平均通行人数を表示



地点別最大人数

地点別の人数の最大値を日別、地点別に表示。天気情報も併記。



平均通行人数

平均通行人数を曜日別、時間別に表示



最大人数

人数の最大値を時間別に表示。天気情報も併記。



1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

■ 事業② 四日市版MaaSの構築

	R4(2022)年度	R5 (2023)年度	R6 (2024)年度	R7 (2025)年度	R8 (2026)年度	R9 (2027)年度
ロードマップ	自動運転バス等実証実験の実施			連携	四日市版MaaS実装	
		四日市版MaaS検討				
実施内容／予定	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バス等実証実験「まちなかモビリティ」の実施 モビリティWG及び分科会実施（MaaS分科会、次世代モビリティ分科会） 	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バス等「モビリティ実証実験」の実施 モビリティWG 四日市版MaaS実証(デジタルスタンプラリーを用いたまち歩きイベント等) 	(予定) <ul style="list-style-type: none"> 第二回自動運転バス等実証実験 モビリティWG 四日市版MaaS実証(まち歩き促進サービス、運用体制の検討等) 	(予定) <ul style="list-style-type: none"> モビリティWG 四日市版MaaS実証(システム構築、運用体制決定、実装開始) 		

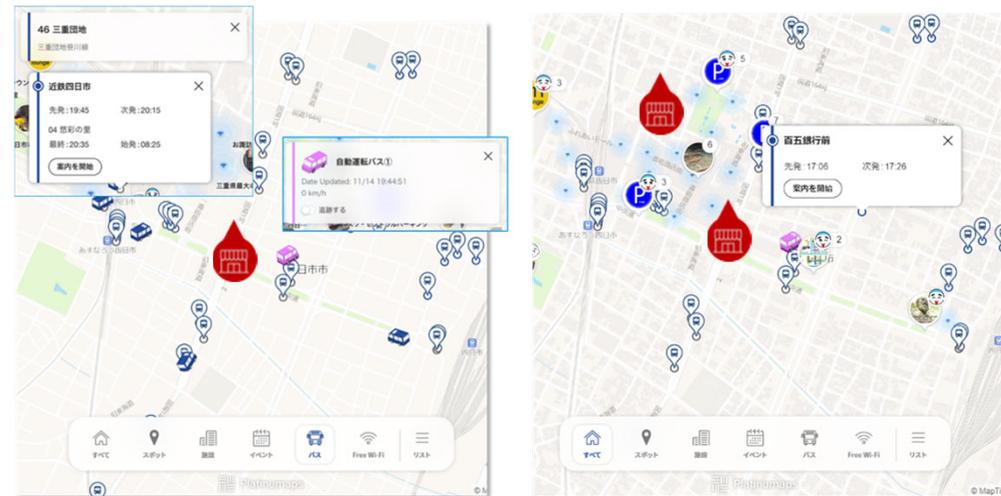
■ 主な取組内容

① 四日市版MaaS上でのまち歩き促進サービスの効果検証

過年度構築済のデジタルマップを活用して、データプラットフォームとの連携機能を有する四日市版MaaSのプロトタイプを構築する。ビジター（ビジネス目的の来訪者、観光客）をターゲットとした「まち歩き」を促進するため、目的地までの公共交通手段及び徒歩を含む経路検索機能、まちなかのイベント情報の掲載、駐車場、商店街店舗情報の掲載を行う。また、過年度同様、自動運転バスと連携した実証実験を通じて、ターゲットであるビジターのニーズや、回遊性向上にあたって効果の高いサービス提供の方法を検証

② 運用体制の検討

駐車場情報、公共交通情報を重畳した際のイメージ



1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

■事業③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築

	R4(2022)年度	R5 (2023)年度	R6 (2024)年度	R7 (2025)年度	R8 (2026)年度	R9 (2027)年度
ロードマップ		沿道空間利用マネジメントシステムの構築 沿道空間基礎調査等 → システム構築(β版) → システム構築(正式版)			実装	
実施内容／予定		<ul style="list-style-type: none"> 沿道空間の基礎調査実施(商店街空き店舗等) 商店会とのワークショップ実施 等 	(予定) 沿道空間利用マネジメントシステムβ版の作成	(予定) 沿道空間利用マネジメントシステム正式版の作成		

■主な取組内容

①沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化

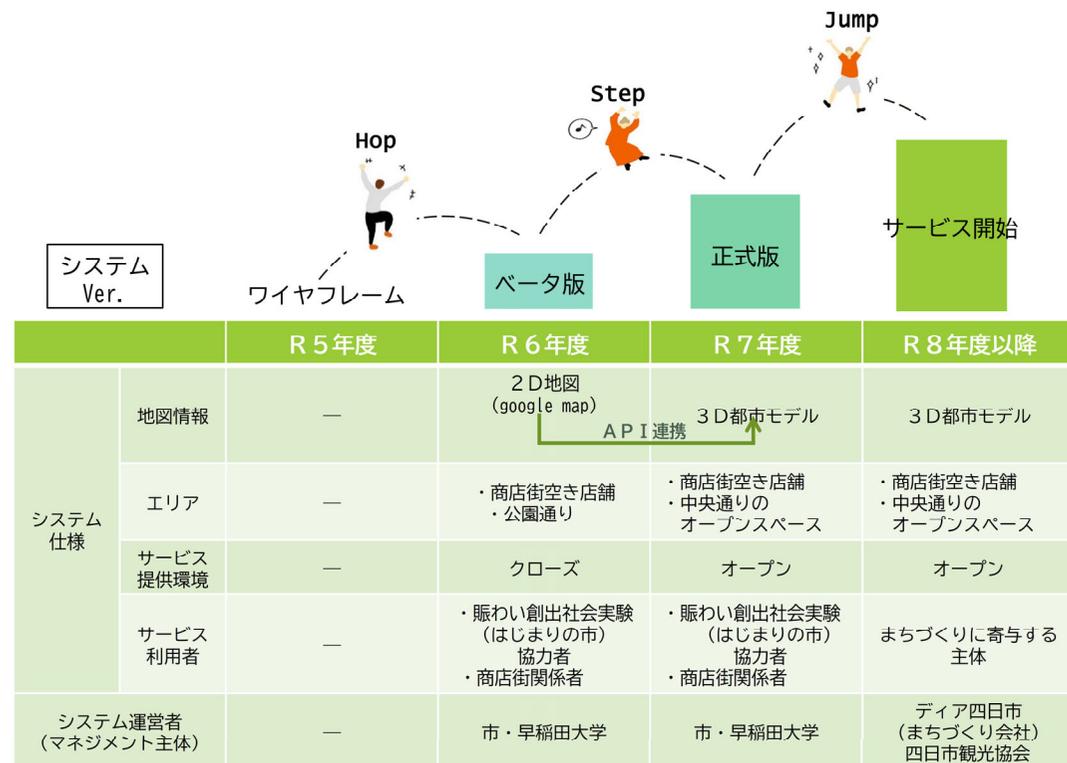
沿道空間利用マネジメントシステムのベータ版を構築し、利用者（空間を使いたい人と使ってほしい人）のニーズを把握し、課題を明らかにすることにより、R7年度の実装に繋げる

②効果検証方法の整理

沿道空間利用に伴う効果について、経済的側面に留まらず、コミュニティ形成の促進、安全性の向上、景観面の向上等、社会的な観点を踏まえた効果検証の方法を整理

③運用体制・ルールの検討

沿道空間利用をマネジメントする主体、活用意欲のある主体に向けたヒアリングの実施、持続可能なシステムとするための費用負担の考え方等、体制・運用ルール検討に着手



1. 目指すスマートシティとロードマップ (2) ロードマップ

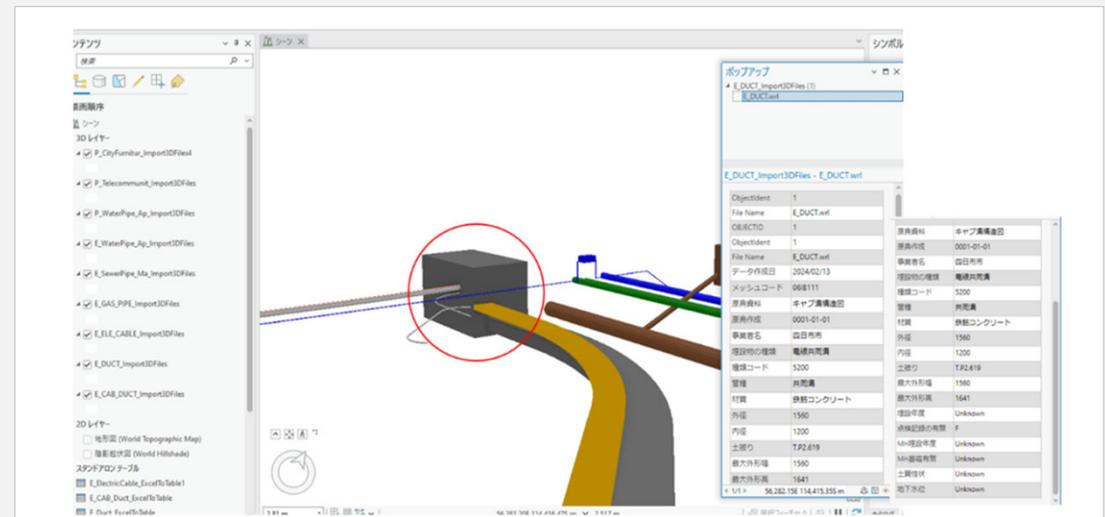
■事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築

	R4(2022)年度	R5 (2023)年度	R6 (2024)年度	R7 (2025)年度	R8 (2026)年度	R9 (2027)年度	
ロードマップ	仕様検討等	中央通りにおける構築 デジタルインフラ台帳の構築・更新			最終仕様調整・実装開始	実装 継続利用	
						必要に応じて機能の見直し等	
実施内容/予定	<ul style="list-style-type: none"> 3D都市モデル構築 	<ul style="list-style-type: none"> 先行整備区間の一部におけるサンプルデータを作成 	(予定) <ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物3次元モデルデータ作成及びデータ更新の試行を通して、デジタルインフラ台帳の有用性およびアクセス環境(セキュリティ面)を実証 	(予定) <ul style="list-style-type: none"> デジタルインフラ台帳の最終仕様調整 中央通り全線のデータを作成 デジタルインフラ台帳の運用体制・ルールを決定 			

■主な取組内容

- ①地下埋設物3次元モデルデータ作成及びデータ更新の試行を通して、デジタルインフラ台帳の有用性およびアクセス環境(セキュリティ面)の実証
- ②運用体制・ルールの検討

デジタルインフラ台帳(地下埋設物の3D都市モデル)



2. 実証実験の位置付け

(1) ロードマップの達成に向けた課題

(2) 課題解決に向けた本実証実験の意義・位置づけ

	(1) ロードマップの達成に向けた課題	(2) 課題解決に向けた本実証実験の意義・位置づけ
事業① 利活用空間活性化 ツールの構築	①AIカメラ等で取得したデータの適切な活用方法 ・データ可視化サービスにおける市民・来訪者および民間事業者（不動産事業者（テナントリーシング）、イベント事業者、キッチンカー事業者等）ニーズの把握が必要 ・蓄積されたデータと即時データの効果的な取り扱い方法 ②スマートシティサービス利用向上 ・ポータルサイトサービスの利用者数向上のためには、どのような情報伝達方法（表示内容・掲示時間等）の効果が高いか ・実空間における情報掲示がスマートシティサービス利用向上にどの程度つながるのか	【実証実験内容】 1) コンテンツの見せ方実証実験（R5補正） 2) 災害時を想定した即時的な情報提供を行う情報伝達実験（R6） 【意義・位置づけ】 ・効果的なデータ活用方法および情報の見せ方を明確化することにより、より市民・来訪者および民間事業者のニーズに即した使いやすい、使われるサービス実装へつなげる。
事業② 四日市版MaaSの 構築	①四日市版MaaSの取組効果の明確化 ①-1 回遊性向上効果の把握 ①-2来訪者の増加、多様なモビリティの利用機会増加、地域認知度の向上の効果把握 ②四日市版MaaSの利用者数向上 ・よりユーザーにとって使いやすくなるためのインセンティブの検討が必要	【実証実験内容】 1) サービス利用者の滞在・場所に係るデータ取得（R5補正） ・RCY地区内のスポット回遊に応じてポイントが貯まるポイントラリーを実施し（来訪者にとってインセンティブとなりうる仕組みを検討）、利用者の移動履歴データ等を四日市版MaaSを通じて取得することで、地区内の回遊状況を把握 2) 四日市版MaaSのサービス利用者へのアンケートの実施（R5補正） 【意義・位置づけ】 ・公共交通に加え、まちなかの商業施設情報をデジタルマップ上に重畳させることにより、まち歩きを促進させることを狙い、その効果をポイントラリーやアンケートで検証することで、ユーザーにとってより使いやすく使われるサービス実装へつなげる。
事業③ バーチャル空間にお けるコミュニケーション ツールの構築	①ユーザー（空間を使いたい人と使ってほしい人）にとっての有用な情報の明確化 ②情報の可視化方法 ・ベースとなる都市情報をどのように表現するか ③運用方法について ・ポータルサイト管理者との役割分担、費用分担の明確化	【実証実験内容】 1) 商店街における実証環境の構築（R5補正） 2) 想定される事業者へのヒアリング・アンケートの実施（R5補正） 【意義・位置づけ】 ・β版の試行により、想定利用者からの評価を反映することで、ユーザーにとってより使いやすく使われるサービス実装につなげる。
事業④ 中央通りにおける3D都 市モデルを活用したプ ランニング/マネジメント ツールの構築	①デジタルインフラ台帳の市、埋設事業者、市民に対するメリットの明確化 ②デジタルインフラ台帳運用方法 ②-1 適切なセキュリティを考慮したアクセス環境の構築 ②-2 データ精度の補償・利用責任などの責任範囲の明確化 ②-3 データ更新方法	【実証実験内容】 1) データ更新の試行によるデジタルインフラ台帳の有用性の評価（R6） 2) データ更新の試行によるアクセス環境試行実験を実施（R6） 【意義・位置づけ】 ・メリットの明確化および運用方法を試行し課題に対して解決策を検討することで、ユーザーにとってより使いやすく使われるサービス実装につなげる。

2. 実証実験の位置付け

(1) ロードマップの達成に向けた課題

(2) 課題解決に向けた本実証実験の意義・位置づけ

	事業① 利活用空間活性化ツールの構築		事業② 四日市版MaaSの構築	事業③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築 (デジタルインフラ台帳の構築)
	(R5年度補正)	(R6年度)	(R5年度補正)	(R5年度補正)	(R6年度)
位置付け	データ可視化サービスの効果検証	スマートシティ関連取組の普及啓発、広告を通じた維持管理コスト削減	四日市版MaaS上でのまち歩き促進サービスの効果検証	沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化	デジタルインフラ台帳の仕様および実装メリットの明確化
実証事業の意義	<p>スマートサービスの利用を加速化させるため、R5年度で設置したAIカメラ（歩行者用8台、車両用4台）の精度検証を行い（2回目）、その結果を踏まえて適切なデータの抽出・活用方法に基づくコンテンツの見直しを行う。</p> <p>また、市民や事業者にとって利便性が高く、使いたくなるデータ可視化サービスを展開するため、効果的なコンテンツの見せ方を検証し、R7年度の実装につなげる。</p>	<p>スマートサービスの利用を加速化させるため、その能動的な窓口となるデジタル空間のポータルサイトだけでなく、情報発信拠点として位置付ける実空間において、タッチパネル型デジタルサイネージを活用し、市民や来訪者が必要とする利便性の高い、有用な情報を受動的に提供する実証サービスを展開。</p>	<p>地区内の来訪者の増加、回遊性の向上、モビリティ利用機会の向上、地域認知度の向上のため、ビジネス・観光等でリージョン・コア YOKKAICHI (RCY) 地区を訪問するビジターを主なターゲットと位置づけ、四日市版MaaS上で複数の交通サービス、民間サービス等を組み合わせ提供し、その効果を検証する。</p>	<p>公共空間における利活用空間利用促進に向けて、利用したい側と利用させたい側のマッチングの必要性を認識。</p> <p>過年度の調査結果に基づき、沿道空間利用マネジメントシステムのベータ版を構築し、利用者（空間を使いたい人と使ってほしい人）のニーズを把握し、課題を明らかにすることにより、R7年度の実装に繋げる。</p>	<p>中央通り再編を契機として、既存埋設物台帳と実空間の不整合による施工時手戻り等の発生から地下埋設物の3Dデジタル化に対する必要性を認識。</p> <p>中央通り全線のモデル化を行い、デジタルインフラ台帳におけるセキュリティを確保したアクセス環境の構築を実証するとともに、設計時・施工時・管理フェーズでの工数削減のメリットについても実証を行い、R7年度の実装を目指す。</p> <p>(四日市市が全国初の実装自治体となる可能性)</p>

2. 実証実験の位置付け

(1) ロードマップの達成に向けた課題

(2) 課題解決に向けた本実証実験の意義・位置づけ

参考：申請時記載内容

ロードマップ

実証事業	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①利活用空間活性化ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> AIカメラ設置および初期精度検証 ポータルサイト等インターフェースの構築 	<p>R5年度補正</p> <ul style="list-style-type: none"> データ可視化サービスの効果検証 <p>R6年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートシティサービスの実空間における情報提供の有用性の実証 運用体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> データ可視化サービス内容の決定 運用体制の決定 実装の開始
②四日市版MaaSの構築	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転等実証実験と連携したまち歩きイベント（デジタルスタンプラリー）実施 	<p>R5年度補正</p> <ul style="list-style-type: none"> 四日市版MaaS上でのまち歩き促進サービスの効果検証 運用体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 四日市版MaaSの構築 運用体制決定 実装の開始
③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 沿道空間基礎調査 地権者等との意見交換会の実施 	<p>R5年度補正</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化 効果検証方法の整理 運用体制・ルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 沿道空間利用マネジメントシステムの構築 効果検証方法、運用体制等の決定 実装の開始
④中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング・ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 一部区間のデータ作成 関係者ヒアリングの実施 	<p>R6年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物3次元モデルデータ作成及びデータ更新の試行を通して、デジタルインフラ台帳の有用性およびアクセス環境（セキュリティ面）の実証 運用体制・ルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 最終仕様の調整 運用体制・ルールの決定 中央通り（竣工済の部分）のデータ化 実装の開始

フェーズ 概要・目的	基礎調査、機器設置、 実証(1回目)等(令和5年度)	実証(2回目)に基づくサービス内容のブラッシュアップ(令和6年度)	サービスの実装開始(令和7年度)
①利活用空間活性化ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 再整備区間においてAIカメラなどのセンサーを設置し、人流データ等の計測を開始。 スマートシティ関連サービスの窓口として、ポータルサイトを構築し、市民に公開。(実証1回目) 	<ul style="list-style-type: none"> データ可視化サービスの効果検証 スマートサービスの利用を加速化させるため、R5年度で設置したAIカメラ（歩行者用8台、車両用4台）の精度検証を行い（2回目）、その結果を踏まえた適切なデータの抽出・活用方法に基づくコンテンツの見直しを行う。また、市民や事業者にとって利便性が高く、使いやすくなるデータ可視化サービスを展開するため、効果的なコンテンツの見せ方を検証し、R7年度の実装につなげる。 スマートシティサービスの実空間における情報提供の有用性の実証 中央通りに実際にタッチパネル型のデジタルサイネージを設置し、スマートシティサービスの情報提供を行う。日常時とイベント時の表示内容を変更し、より効果的な表示方法の検証を行う。 運用体制の検討 利活用空間活性化ツールの運用体制の検討に着手し、維持管理を含めた官民の役割分担、今後のデータ売却・広告収入等を含むサービス収益化の可能性といった運用体制検討における課題を明確化する。 	<ul style="list-style-type: none"> データ可視化サービス内容の決定 AIカメラ（歩行者用、自動車用）の適切な活用方法を決定する。また、それに基づくポータルサイト、デジタルサイネージを通じたデータ可視化サービス（人数カウント・属性・混雑、車両の台数・渋滞、環境※）の内容を決定し、データごとの想定可視化サービス受益者にヒアリングを行い、コンテンツの見直しを行う。（※は別事業で整備） 実装の開始 ポータルサイト、デジタルサイネージを通じたデータ可視化サービスの実装を開始する。
②四日市版MaaSの構築	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地・商店街等の目的地の可視化・訪問動機付けのためのMaaS機能として、デジタルスタンプラリー機能を開発し、実証実験を実施し、課題・改善点を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> 四日市版MaaS上でのまち歩き促進サービスの効果検証 過年度構築済のデジタルマップを活用して、データプラットフォームとの連携機能を有する四日市版MaaSのプロトタイプを構築する。ビジター（ビジネス目的の来訪者、観光客）をターゲットとした「まち歩き」を促進するため、目的地までの公共交通手段及び徒歩を含む経路検索機能、まちなかのイベント情報の掲載、駐車場、商店街店舗情報の掲載を行う。また、過年度同様、自動運転バスと連携した実証実験を通じて、ターゲットであるビジターのニーズや、回遊性向上にあたって効果の高いサービス提供の方法を検証する。 運用体制の検討 四日市版MaaSの運用体制（官民の役割分担、他企業からのサービス利用料・広告収入等を含むサービス収益化の可能性）の検討に着手する。 	<ul style="list-style-type: none"> 四日市版MaaSの構築 過年度明らかになった課題を踏まえ、四日市版MaaSを構築する。具体的には、令和6年度の取組に加え、新たな消費誘発を目的として、満室情報を提供する駐車場の拡大、周辺施設を対象としたクーポン等の配信を行う（R6年度の成果により要検討）。 運用体制の決定 四日市版MaaSの運用体制を決定する。 実装の開始 同システムの実装を開始する。
③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 沿道空間利用マネジメントシステムの考え方を整理し、地権者等のニーズや要望を確認。(基礎調査) バーチャル空間におけるコミュニケーションツールとしてメタバース空間の活用実証を行い、市民からのフィードバックを得る。(本取組は令和6年度以降、本事業の対象外とする) 	<ul style="list-style-type: none"> 沿道空間利用マネジメントシステムの実装化に向けた課題の明確化 過年度の調査結果に基づき、沿道空間利用マネジメントシステムのベータ版を構築し、利用者（空間を使いたい人と使ってほしい人）のニーズを把握し、課題を明らかにすることにより、R7年度の実装に繋げる。 効果検証方法の整理 沿道空間利用に伴う効果について、経済的側面に留まらず、コミュニティ形成の促進、安全性の向上、景観面の向上等、社会的な観点を踏まえた効果検証の方法を整理する。 運用体制・ルールの検討 沿道空間利用をマネジメントする主体、活用意欲のある主体に向けたヒアリングの実施、持続可能なシステムとするための費用負担の考え方等、体制・運用ルール検討に着手する。 	<ul style="list-style-type: none"> 沿道空間利用マネジメントシステムの構築 過年度明らかになった課題を踏まえ、3D都市モデル上で同システムを構築する。 効果検証方法、運用体制・ルールの決定 沿道空間利用に伴う効果検証の方法を決定する。また、沿道空間利用マネジメントシステムの運用体制・ルールを決定する。 実装の開始 同システムの実装を開始する。
④3D都市モデルを活用したプランニング・ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 中央通りの地下インフラの図面情報を収集し、一部区間のサンプルデータを作成後、デジタルインフラ台帳の仕様面の課題や改善策を整理。(実証1回目) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物3次元モデルデータ作成及びデータ更新の試行を通して、デジタルインフラ台帳の有用性およびアクセス環境（セキュリティ面）の実証 中央通り（西浦通～市民公園東区間（全幅員）；約270m、市民公園東～国道1号区間（南側車道及び歩道）；約540m）を対象としたモデルデータを作成し、アクセス環境およびセキュリティ上の課題について検証を行う。更に、既存埋設物台帳からモデルデータを作成し、試掘結果データ等に基づいた更新を行うことで、工数削減および施工時の調整円滑化について検証する。 運用体制・ルールの検討 デジタルインフラ台帳の運用体制・ルールの検討（行政側の維持管理体制、メンテナンスや更新のタイミング、事業者との共有方法、国の標準製品仕様書との連携）に着手する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全線のモデル構築および最終仕様の調整 デジタルインフラ台帳の最終仕様を調整、それに基づき中央通り（竣工済の部分）のデータを作成する。 運用体制・ルールの決定 デジタルインフラ台帳の運用体制・ルールを決定する。 実装の開始 同システムの実装を開始する。

● 令和5年度補正 ● 令和6年度予定

3. 実験計画

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実験内容・方法 (3) KPI (4) スケジュール

事業① 利活用空間活性化ツールの構築

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実証実験内容と実証方法

	R5年補正	R6年事業
仮説	<ul style="list-style-type: none"> 市民および民間事業者のニーズに即したデータ提供が利用向上につながる 効果的なデータの見せ方が利用者向上につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の即時情報提供が防災力向上に加え、サービス認知度向上につながる デジタル空間に加え、実空間での情報提供がサービス利用者向上につながる
実証の概要	スマートシティポータルサイトにおけるデータ可視化サービスの効果的なコンテンツの見せ方の検証 <ul style="list-style-type: none"> AIカメラ（歩行者用、自動車用）の精度検証結果を踏まえて、適切な活用方法（データ可視化サービスの民間事業者へのニーズ、蓄積されたデータと即時データの取り扱い等）の検討を行い、適切なデータの抽出と活用方法について検討を行ったうえで、データ可視化サービスのコンテンツ見直しを行う。 コンテンツの見せ方について複数案を作成し、市民及び事業者をモニターとして設定し、彼らのニーズと課題を把握したうえで、コンテンツの効果的な見せ方について検証を行う。 	スマートシティサービスの実空間における情報提供の有用性を実証 <p>実空間という特性を活かし、イベント情報・周辺商業施設等の情報に加え、即時的な防災・交通その他緊急情報を強調する等の変更を加え、かつタッチパネル型デジタルサイネージに適合する形にスマートシティポータルサイトのコンテンツをブラッシュアップする。その上で、中央通りに実際にタッチパネル型のデジタルサイネージを設置し、スマートシティサービスの情報提供を行う。情報提供の効果検証にあたっては、日常時とイベント時の表示内容を変更し、より効果的な表示方法の検証を行う。さらに、今後の維持管理を見据え、広告表示を試行する。</p>
実証方法	1) コンテンツの見せ方実証実験の実施 多世代の20-30人の市民ユーザーを想定したモニターを抽出し、実際にデータ可視化サービスにおける複数のコンテンツ案をスマホ上などで見て体験してもらい、アンケート調査にて評価を行う。 また、現地で事業を展開する可能性のある事業者（キッチンカー、イベント等）に対して、実際にデータ可視化サービスにおける複数のコンテンツ案をスマホ上などで見て体験してもらい、アンケート調査にて評価を行う。 上記の実証実験の結果、評価の高かったコンテンツ案をサービスとして実装し、利用者数の計測を行い、効果的なコンテンツの見せ方の検証を行う。	1) 災害時を想定した即時的な情報提供を行う情報伝達実験を実施 災害時を想定した情報伝達実験を開催、その際、コンテンツの見せ方を3パターン程度設定し、被験者の行動観察及びへの実験後のアンケートにて検証する。 2) 実空間におけるスマートシティポータルサイト利用者数・属性を計測 平常/イベント時、時間帯によってどのような利用者がデジタルサイネージを視認するか、視認から実際にスマートシティサービスを利用するかについて利用者数及び属性についてデジタルサイネージに設置したAIカメラを用いて計測・分析し、実空間における情報提供の有用性について評価する。また、事業者に対して、これらのデータの有用性（広告的価値等）についてアンケートを行い検証する。

(3) KPI

検証項目	検証方法	目標(KPI)	概要
データ可視化サービスの効果検証	市民モニター、事業者（キッチンカー、イベント等）へのヒアリング・アンケート調査	5段階評価で7割以上の事業者がポジティブな評価	実証期間中に複数のコンテンツを提示。市民モニター及び事業者へヒアリング・アンケートを実施、それぞれのコンテンツに対する有用性を検証する
実空間におけるスマートシティ取組の周知の有用性（実空間におけるスマートシティサービスポータル機能実装）	災害時を想定した情報伝達実験における被験者の行動観察（情報掲示から行動開始までの時間）	視認から30秒以内に行動開始等	被験者一人一人の行動を録画データおよび目視観察により記録し、行動変容を把握する
	災害時を想定した情報伝達実験における被験者へのアンケート調査（表示のわかりやすさ）	5段階評価で7割以上の被験者がポジティブな評価	3パターン程度の表示内容で実験を行い、被験者に対するアンケートにより効果的な表示内容を検証する
	デジタルサイネージ視認者の人数・属性計測および行動観察（デジタルサイネージ設置による行動変容）	通行する歩行者の70%以上が視認、5%がスマートシティサービスを利用	設置済のAIカメラを活用して歩行者の全数を調査し、デジタルサイネージに設置したAIカメラにより視認者の人数および属性の計測を行い、デジタルサイネージの有用性について検証を行う

(4) スケジュール

● スマート・リージョンコア推進協議会で共有

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
R5年補正予算事業分	企画・仕様調整	AIカメラの精度検証（2回目）、適切な活用方法の検討				●	コンテンツの見直し		実証実験、アンケート実施	●	ポータルサイト利用者数計測、分析・とりまとめ		●
R6年事業分				ポータルサイトのブラッシュアップ	●	情報提供の実証			分析・とりまとめ				

3. 実験計画

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実験内容・方法 (3) KPI (4) スケジュール

事業② 四日市版MaaSの構築

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実証実験内容と実証方法

仮説	<ul style="list-style-type: none"> 交通サービスに加え、イベント情報・駐車場情報・店舗情報の提供が来訪者にとってインセンティブとなる情報になる 地域の店舗でのクーポンと連携することが回遊性向上につながる
実証の概要	<p>四日市版MaaSのプロトタイプにおいてまち歩きを促進するサービスの効果を検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 四日市データプラットフォームと連携する四日市版MaaSのプロトタイプを構築する。 来訪者を主なターゲットとした「まち歩き」を促進するため、インセンティブの付与方法を検討したうえで、交通サービス、民間サービスを提供する（経路検索機能、イベント情報、駐車場の情報、店舗情報、クーポンの提供等）。 自動運転バスと連携した実証実験を通じて、ターゲットである来訪者のニーズや、回遊性向上にあたって効果の高いサービス提供の方法を検証する。
実証方法	<p>1) 四日市版MaaSを通じたサービス利用者の滞在・場所に係るデータ取得 RCY地区内のスポット回遊に応じてポイントが貯まるポイントラリーを実施し（ポイントは地域の店舗でクーポンとして活用できるなど、来訪者にとってインセンティブとなる仕組みを検討）、利用者の移動履歴データ等を四日市版MaaSを通じて取得することで、地区内の回遊状況を把握する。</p> <p>2) 四日市版MaaSのサービス利用者へのアンケートの実施 四日市版MaaSのアンケート機能を用いて、下記を検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区への来訪回数、滞在時間 活用したモビリティサービス（鉄道、バス、自動運転バス、こにゅうどうレンタサイクル等） 主要施設・名所の認知度向上

(3) KPI

検証項目	検証方法	目標	概要
来訪者の回遊性向上	四日市版MaaSを通じたサービス利用者の移動履歴データの取得	利用者（1pt以上保有者）のうち、10pt以上の保有者が20%以上 ※過年度の結果を踏まえて本目標を設定	サービス利用者を対象として、RCY地区内における移動履歴を分析
来訪者数の増加		利用者数（1pt以上保有者数）300名以上 ※R8年度におけるスマートシティサービスの利用者数目標が50000件。実証期間が20日間と想定して約3000件のアクセスが目標。その内10%に参加いただく想定して、300名と設定 ※R5年度のデジタルスタンプラリー総参加者は174名	RCY地区への来訪機会の増加効果等を分析
多様なモビリティの利用機会向上	四日市版MaaSを通じたアンケートの実施	RCY地区内の各モビリティ利用回数が10%増加	活用したモビリティサービスの利用回数を測定（鉄道、バス、自動運転バス、こにゅうどうレンタサイクル等）
主要施設・名所の認知度向上		RCY地区内の認知度が10%増加	主要施設・名所の認知度向上効果を分析

(4) スケジュール

●スマート・リージョンコア推進協議会で共有



3. 実験計画

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実験内容・方法、(3) KPI、(4) スケジュール

事業③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実証実験内容と実証方法

仮説	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペースや空き店舗等の潜在的な利用ニーズがある ・使いたい人と使ってほしい人のマッチングが使われない空間のボトルネックになっており、マッチングを行っていく必要がある ・マッチングがうまくいけば、よりオープンスペースや空き店舗の利用促進につながる
実証の概要	<p>利活用空間ウェブサイトにおいてマッチングを促進するために有用な情報の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街と公園通りのエリアを対象として、利活用空間ウェブサイト（＝沿道空間利用マネジメントシステム）のベータ版を構築 ・アクセス環境を絞ったクローズドな環境でベータ版の実証実験を行う。実証実験後に、事業者に対して、データに付加する情報のニーズ・その他に必要な情報の有無、情報の公開範囲等についてヒアリングを行い、実装化に向けた課題の明確化を行う。
実証方法	<p>1) 商店街における実証環境の構築 令和5年度の基礎調査内容に基づき、商店街関係者へのヒアリングをとおして、実際にサービスとして提供できる空間を選定したうえで、空間を使ってほしい人（運営者：市）、空間を使いたい人（出店者）を設定する。また、試行する環境条件（PCスペック等）、ヒアリング・アンケートシートを作成する。</p> <p>2) 想定される事業者へのヒアリング・アンケートの実施 商店街内の公園通りにおいて、商工会議所主催イベントとタイアップした実証実験を実施する。具体的には、出店スペース（もしくは空き店舗）の情報を2D地図に表示し、そのシステム（ベータ版）を活用して、出店者とのマッチングを行う。その後、出店者へ対してヒアリング・アンケートを実施する。</p>

(3) KPI

検証項目	検証方法	目標	概要
沿道空間利用マネジメントシステムのユーザーにとっての情報の有用性	空間を使いたい人（出店者）へのヒアリング・アンケート調査	5段階評価で7割以上の想定ユーザーがポジティブな評価 等	空間を使いたい人（出店者）に対して、データに付加する情報のニーズ・その他に必要な情報の有無、情報の公開範囲等について、ヒアリング・アンケートを実施

(4) スケジュール

●スマート・リージョンコア推進協議会で共有

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年補正予算事業分	企画・仕様調整	利活用空間ウェブサイトの構築					実証実施、ヒアリング			とりまとめ		

3. 実験計画

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実験内容・方法、(3) KPI、(4) スケジュール

事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築 (デジタルインフラ台帳の構築)

(1) 実験で検証したい仮説 (2) 実証実験内容と実証方法

仮説	<ul style="list-style-type: none"> デジタルインフラ台帳の構築が沿道建替促進につながる デジタルインフラ台帳の構築が市・埋設事業者・施工者・設計者の工数削減につながる クラウドサービスを利用したArcGISデータを用いることでセキュリティを確保した適切なアクセス環境の構築ができる
実証の概要	<p>地下埋設物 3次元モデルデータ作成及びデータ更新の試行を通して、デジタルインフラ台帳の有用性およびアクセス環境 (セキュリティ面) を実証</p> <p>過年度の構築データ (20m×20m) を拡張する形で、市民公園前の中央通り北側の延長約150mと近鉄四日市駅西口の中央通り北側・南側の延長約50mの2つのエリアを対象としたモデルデータを作成し、市および各埋設事業者のアクセス環境およびセキュリティ上の課題について検証を行う。更に、既存埋設物台帳からモデルデータを作成し、その上で、試掘結果データ等に基づいた更新を行うことで、工数削減および施工時の調整円滑化について実証実験を行う。</p>
実証方法	<p>1) データ更新の試行によるアクセス環境試行実験を実施 モデル構築を行った上で、クラウドサービスにArcGISデータを格納し、関係者 (市および埋設事業者) のみがアクセスできる環境を構築し、データ更新を試行することによって、アクセス環境試行実験を行う。</p> <p>2) データ更新の試行によるデジタルインフラ台帳の有用性の評価 デジタルインフラ台帳がない場合の工数 (既往の検討・調整フローにおいて各工程の所要時間) を設定した上で、市および埋設事業者、施工者、設計者によるデータ更新を行う。既往の検討・調整フローとデジタルインフラ台帳を使用した場合との工数の比較を行うことで、デジタルインフラ台帳の有用性を評価する。また、デジタルインフラ台帳整備による沿道建替促進効果を検証する。</p>

(3) KPI

検証項目	検証方法	目標	概要
デジタルインフラ台帳のアクセス・セキュリティ環境	市及び埋設物事業者等へのアンケート	アクセスおよびセキュリティ要件を明確化	埋設物事業者等関係者が所有する端末からのアクセス環境および各社のセキュリティ要件に適合するかをデータ更新の試行を通して検証
デジタルインフラ台帳整備の有用性 (工数削減効果)	市及び埋設物事業者等へのアンケート	2割の工数削減効果	一般的な工数をサンプルとして示したうえで、それに対して何時間削減可能 (想定) かを明確化
沿道建て替え促進効果の検証	不動産事業者へのアンケート	アンケートにおいてメリットがあると回答する事業者が過半数	建替対象土地を設定し、その土地沿道の地下埋設情報データ提供イメージ (3Dイメージ) を提示した上で、沿道建替効果促進につながるかについて、アンケートを実施

(4) スケジュール

●スマート・リージョンコア推進協議会で共有



第11回 データプラットフォームWG (幹事会報告)

四日市スマートリージョン・コア推進協議会
データプラットフォームWG

2024年8月5日（月）

過年度の活動 振り返り

令和3年

第1回

12月7日

- 代表企業の選定
- データプラットフォームWGの概要

令和4年

第2回

1月20日

- 各社様サービス/データ利活用紹介
- 四日市版データプラットフォームのあるべき姿の検討

第3回

2月21日

- 四日市版データプラットフォームのコンセプト共有
- 実行計画に記載するサービス案

第4回

5月25日

- 令和4年度の検討方針共有
- 勉強会：情報銀行について

第5回

9月15日

- 各種進捗報告
- データプラットフォームWG 今後の進め方（新スキーム）共有

第6回

11月24日

- 各種進捗報告
- WSの開催について

令和5年

1月17日

データプラットフォームWG主催 ワークショップ

第7回

3月8日

- 各種進捗報告
- WSにて収集した意見の整理

第8回

6月28日

- 各種進捗報告
- WG活動方針
- 地域団体との連携

第9回

10月27日

- 全体ストラクチャー共有とスマート関連取組状況共有
- 地域団体との連携状況
- 勉強会：他地域の事例から見えるデータ活用検討

令和6年

第10回

3月19日

- 令和5年度振り返り
- R5年国交省スマートシティ実装化支援事業 共有など

第11回

7月10日

- 過年度の取り組み
- 令和6年度のWG活動

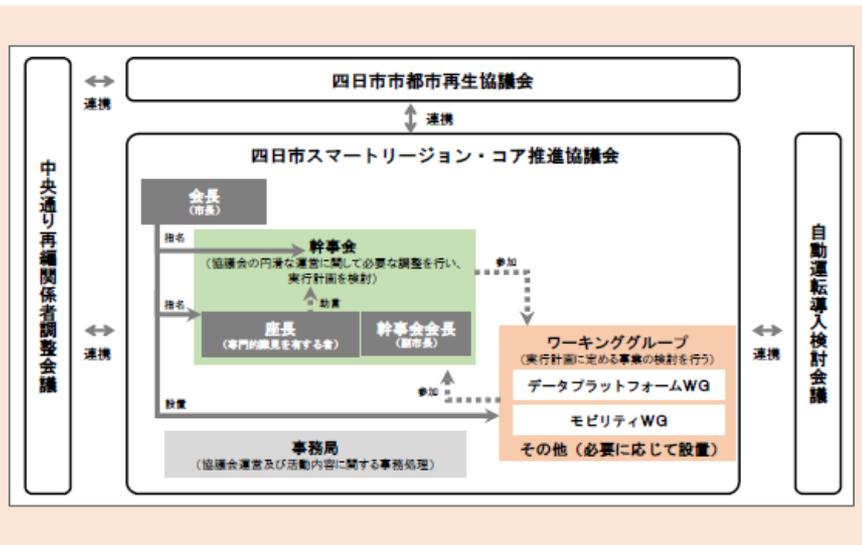
今回
報告

データプラットフォームWGの参加企業一覧

データプラットフォームWG参加企業	位置づけ
(株)シー・ティー・ワイ	代表
近鉄グループホールディングス(株)	
(株)三十三銀行	
(株)日建設計	
(株)FIXER	
富士通Japan(株)	
三重交通(株)	
四日市商工会議所	
内閣官房 オープンデータ伝道師 武蔵大学 庄司 昌彦	アドバイザー
四日市市	事務局
(株)日建設計総合研究所	事務局補佐

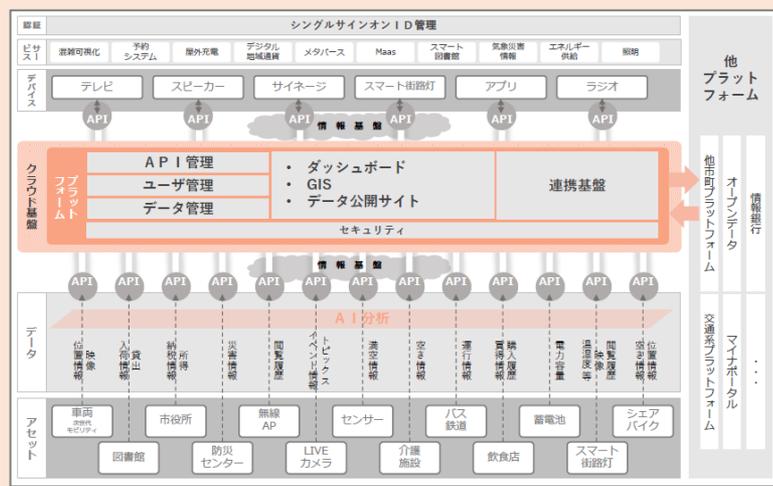
※代表、アドバイザー、事務局および事務局補佐を除き、五十音順_敬称略

過年度の活動 振り返り（令和3年度）



データプラットフォームWG発足

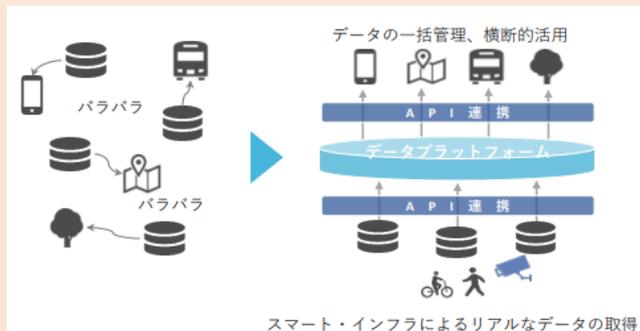
- ・四日市スマートリージョン・コア推進協議会の組織内にデータプラットフォームWGを発足。
- ・四日市スマートリージョン・コア実行計画に定める事業（主にデータ利活用について）の検討を行っていく。



データプラットフォーム活用方針を定める

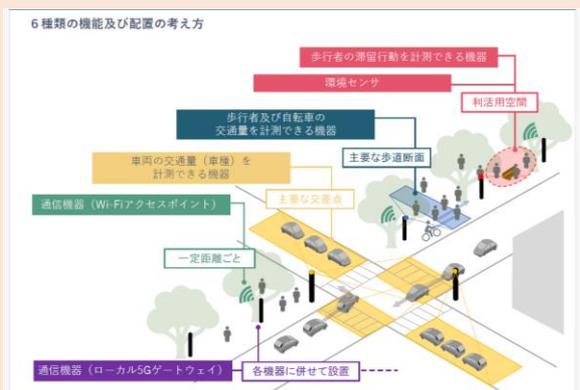
- ・四日市スマートリージョン・コア実行計画内に官民連携で利用でき、いつでも見える化、段階的に拡張などを踏まえた、データプラットフォームの整備および活用方針を定めた。
- ・令和4年度に四日市市データプラットフォーム構築。（構築主体：四日市市）

過年度の活動 振り返り（令和4年度）



四日市市データプラットフォーム構築

- データの横断的な活用が可能となることから、市としては政策立案、民間企業等としては新たな事業展開やサービス開発に活用することが可能



スマート・インフラについて協議

- 中央通りの先行整備区間（西二工区）へ整備をするスマート・インフラについて協議
- 賑わい創出社会実験 はじまりの市などでの実証を繰り返し、優先導入機能の検討を実施

地域の大学・団体とワークショップ開催

- データプラットフォームWGメンバーと、市内の大学、地域組織と連携してワークショップを開催。
- 中央通りの現状の課題と将来の理想の姿について意見出しを実施。

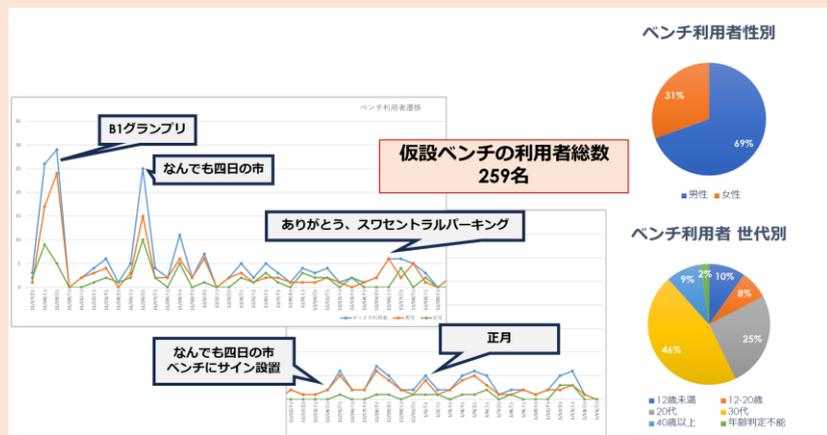


過年度の活動 振り返り（令和5年度）



アイデアソン開催（四日市市主催）

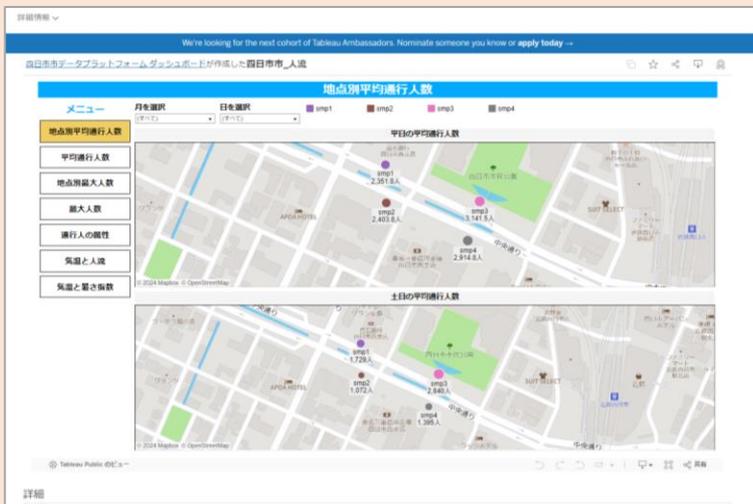
- ・まちの課題やその解決の姿の意見を出しあう四日市市アイデアソンを開催。地域の事業者や高校生、大学生などが参加。
- ・課題の解決のために必要なデータの検討などもあわせて実施。
- ・アイデアソンで出たアイデアをもとに、令和6年度は、ハッカソンを開催予定。



地域団体とデータ収集／分析

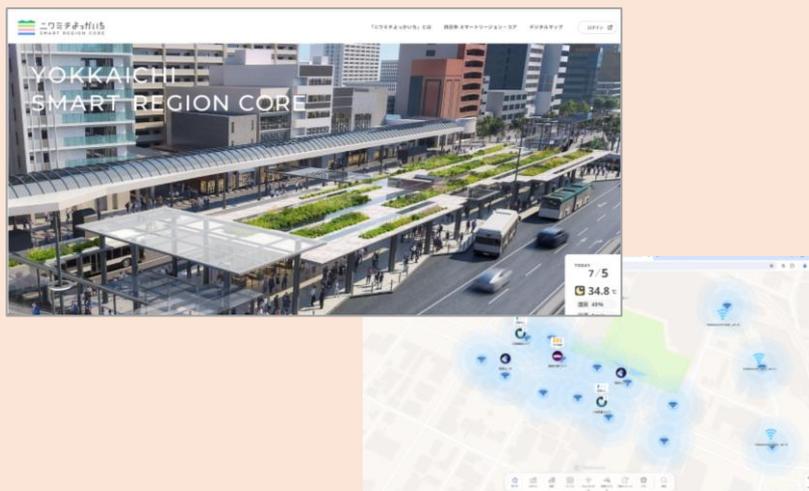
- ・官民連携で街の未来について検討する四日市エリアプラットフォームと連動し、市内の一部の商店街で、来場者の人流／属性データの取得を実施。
- ・商店街内での滞留者の現状分析、商店街内に整備したコンテナハウス、キッチンカー等へ誘致する出店事業者などの検討などに活用

過年度の活動 振り返り（令和5年度）



データ分析ツールの データプラットフォーム ダッシュボード構築 (四日市市 構築)

- 取得したデータの分析のためのダッシュボードを構築
- 中央通り西二工区に、IoTセンサー AIカメラ（人流・車両）、環境センサー・Wi-Fiを整備
- データの集計結果を数値、グラフなどで表示



スマートリージョンコアの情報発信 (四日市市 構築)

- 四日市スマートリージョン・コア実行計画の進捗まちの取り組み（ショップ・イベント等）を紹介するポータルサイトを構築
- 官民連携での活用、発信を目指し取り組んでいく。
- 市民に分かりやすくデータを確認してもらうため、四日市市デジタルマップ内に、データを視覚化し、今後、市民への理解を深めていく。

データプラットフォームを中心とした効率的・持続可能な運営 ～四日市スマートリージョン・コア実行計画の推進～

今回議論

段階的な拡張

- ・データの蓄積や活用方法に応じて拡張

データ蓄積の実行

- ・スマートインフラの導入開始
- ・データプラットフォーム
ダッシュボード構築

データ蓄積について協議

- ・データプラットフォーム構築
- ・スマートインフラの導入協議

データ活用の必要性を協議

- ・データプラットフォームWG発足
- ・データプラットフォームの方針作成

ハード面の検討

地域課題の洗い出しと その解決策のアイデアの実証

- ・四日市市ハッカソン開催および
開発品の実証

地域課題の洗い出しと その解決策のアイデア出し

- ・四日市市アイデアソン開催

地域課題の洗い出し

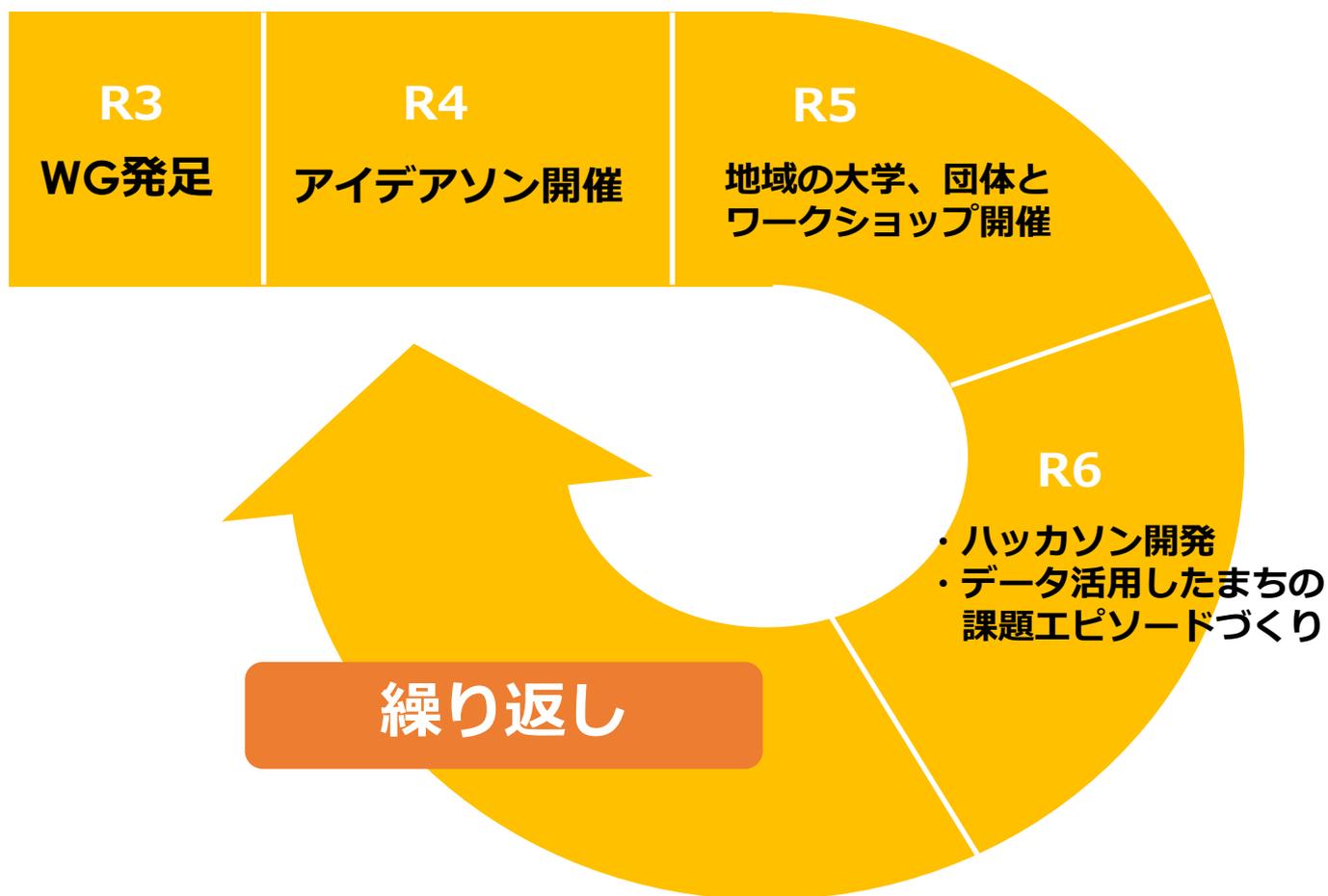
- ・WGおよび地域団体を招き実施
- ・データ活用を意識した地域課題の
エピソードづくり

繰り返し

ソフト面の検討

ソフト面の対応

データプラットフォームの構築、スマートインフラ整備がはじまり、
いよいよデータが蓄積されていく。
本WGでは、技術的な協議に加えて、蓄積され、可視化されたデータを活用し、
課題の洗い出し、それに伴う解決等（案）を都度繰り返し、実施していく



今年度のWG活動

フィールド1 商店街



フィールド2 市民公園



今年度のWG活動（データ活用したエピソードづくり）

テーマ：データ活用・フィールド：商店街

登場人物

前提条件

データ収集

データ分析

新しい施策
(アイデア)

来場者

・昼間でも楽しめる
商店街が良い

・どんな店があるか
分かりやすい商店街
が良い

・人流データ
・天気予報

・現状の分析
・課題の洗い出し

・デジタルで対応
可能な取り組み
・そのほかの取り組み

店主
商店街組合

・イベントや魅力的な
店が増え、若い世代
も来場増と売上増に
つながって欲しい

・人流データ
・天気予報

・現状の分析
・課題の洗い出し

・デジタルで対応
可能な取り組み
・そのほかの取り組み

※来場者の前提条件は、**令和5年度のアイデアソン**からの意見を参考
※店主／商店街組合の前提条件は、**令和4年度のワークショップ**からの意見を参考

▶ 四日市市データプラットフォーム ダッシュボード

<https://public.tableau.com/app/profile/yokkaichi.smartcity/vizzes>

▶ 令和5年度歩行者流量調査（通行量・時間変動・男女構成・自転車通行量）

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001382/index.html>

▶ 諏訪新道 人流調査

12月のWGで検討

今後、必要と想定するデータ
(今後、DPFに蓄積が必要と想定するデータ)

今年度のWG活動（データ活用したエピソードづくり）

テーマ：データ活用・フィールド：市民公園

登場人物

前提条件

データ収集

データ分析

新しい施策
(アイデア)

来園者

- ・気軽に過ごせる場所が欲しい
- ・安心して遊べる場所が欲しい

- ・人流データ
- ・環境データ
- ・防災情報 など

- ・現状の分析
- ・課題の洗い出し

- ・デジタルで対応可能な取り組み
- ・そのほかの取り組み

公園管理者
公園利用事業者

- ・学生など大人数が集う公園にしたい
- ・いつ来てもすぐにお店が開けるようにビジネスをしたい

- ・人流データ

- ・現状の分析
- ・課題の洗い出し

- ・デジタルで対応可能な取り組み
- ・そのほかの取り組み

※来園者の前提条件は、**令和5年度のアイデアソン**からの意見を参考
※店主/商店街組合の前提条件は、**令和4年度のワークショップ**からの意見を参考

▶四日市市データプラットフォーム ダッシュボード

<https://public.tableau.com/app/profile/yokkaichi.smartcity/vizzes>

▶令和5年度歩行者流量調査（通行量・時間変動・男女構成・自転車通行量）

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001382/index.html>

12月のWGで検討

今後、必要と想定するデータ
(今後、DPFに蓄積が必要と想定するデータ)

このほか（四日市まちづくりハッカソン）

**参加費
無料**

YOKKAICHISHI HACKATHON 四日市市 まちづくりハッカソン²⁰²⁴

【テーマ】若者と考える！魅力あふれる四日市まちづくり



オープンデータを活用した
アプリを作って、
中心市街地の課題を解決！

四日市市まちづくりハッカソンは、本市の中心市街地で進めているスマートシティの取り組みに関連し、データを使って地域課題の解決を図るイノベーションの促進を目的に開催します。

開催日時 オープンデータ勉強会(オフライン形式) 8.10 13:00~16:00 ※ハッカソン参加予定者向けのオープンデータやアプリの作り方を事前に学べる勉強会です。 ハッカソン 1日目(オフライン形式) 8.24 10:00~17:00 ※アイデアワークショップとチームビルディングを行います。 開発期間 8.25 SUN — 8.30 水 ハッカソン 2日目(オフライン形式) 8.31 13:00~17:00 ※最終プレゼンを行っていただきます。	開催場所 8.10 じばさん5階 研修室5 8.24 8.31 じばさん6階 展示室 四日市市地場産業振興センター じばさん (三重県四日市市安島1-3-18) ※近鉄四日市駅から徒歩5分	定員 30名程度
	参加対象 ・高校生以上の個人、チーム(3~6人) [その他]学習意欲のある方、新しいものを生み出したい方、ノートPC・スマホをご持参いただける方。 経験スキル不要。	申込方法・締切 右記QRからご応募ください。 7.17 — 8.17 
		問合せ先 (事務局)株式会社シー・ティー・ワイ TEL:0120-30-6500 (月~土 ※日・祝祭日を除く9:00~17:00) E-mail:cty_ictsol23@cty.co.jp

【主 催】四日市市 【運営・事務局】株式会社シー・ティー・ワイ 【運営協力】JellyWare株式会社

相談

WG or 別立て報告？

昨年、まちなかに存在する地域課題について、オープンデータを活用した解決方法を話し合うアイデアソンを開催致しました。

今年度は、アイデア出しだけでなくデータを利活用したアプリ作成を行うハッカソンを開催いたします。

モビリティWG/分科会 実施報告（令和5年度）

第2回次世代モビリティ分科会 令和5年5月19日（金）

- 昨年度実証実験「まちなかモビリティ」について
 - ・ 令和4年度に実施した実証実験の振り返り（要約）共有
- 「四日市版MaaS」今年度の実施事項（案）
- モビリティ実証実験と参加募集について
 - ・ 令和5年度の実証実験に向けた次世代モビリティ活用に関する参加企業の募集を実施

第5回データ連携・MaaS分科会 令和5年6月27日（火）

- 四日市版MaaS（仮）開発プロセス案について
 - ・ 中長期企画概要（フェーズ1～3の概要・スケジュール）
 - ・ 今年度の企画概要（フェーズ1としてのデジタルスタンプラリー等）
 - ・ 今年度のスケジュール（秋のイベントまでのマイルストーン等）
- ・ 主にMaaS構築に向けて中長期の計画と本年度の実証実験向けで実施する内容に関して関係者間で共有実施

* 令和5年6月に分科会を終了し、7月以降はWG内にてテーマを分けて議論を実施。

第7回WG 令和5年7月12日（水）

- 今年度の自動運転実証実験について（全体像確認）
- データ連携・MaaS分科会/次世代モビリティ分科会における議論内容の振り返り
- SC実装化支援事業を踏まえたモビリティ分野の取組

* 国交省スマートシティ実装化支援事業への採択により、令和5年度から3年間で「四日市版MaaS」の開発構築を本格的に進めていながら、一方で自動運転等の次世代モビリティも合わせて実装を目指す

第8回WG 令和5年10月18日（水）

- 自動運転実証実験進捗共有
- MaaS構築検討進捗共有
- SC実装化支援事業～MaaSについて（3年間見通し）
- 意見交換

・ 主に令和5年度の実証実験に向けた進捗状況の共有と下期以降のWGの運営、今後に関する議論を実施

第9回WG 令和6年3月5日（火）

- 自動運転実証結果共有
- MaaS（デジタルスタンプラリー）実証結果共有
- SC実装化支援事業の今後の方針
- 意見交換

・ 実証実験結果の共有（自動運転、デジタルスタンプラリー）とSC実装化支援事業の今後の方針含む令和6年度に向けて実施していく方向性共有を実施

モビリティWG/分科会 実施報告（令和6年度）

第10回WG 令和6年7月23日（火）

- 令和6年度自動運転等実証実験について
- 令和6年度SC実装化支援事業「四日市版MaaS」の実証実験内容共有（3か年事業の2年目）
- 意見交換

・主に令和6年度の実証実験に向けた進捗状況の共有と下期以降のWGの運営、令和7年度以降に関する議論を実施

第10回モビリティWG 令和6年7月23日（火）

■ 令和6年度自動運転等実証実験に関する進捗共有

- ・ 自動運転バス2台での実証実験実施（ARMA 1台+EVO 1台）
- ・ 電動キックボードの試乗会実施（ユマニテックプラザ前）
- ・ 実証実験でのモビリティ参加企業を募集

自動運転

令和5年度	<p>車両 自動運転バス（ARMA）2台 期間 25日間（11月1日～11月19日） 10：00～16：30 ※B-1グランプリ 11/18（土）・11/19（日） ルート 近鉄四日市駅～JR四日市駅</p>
令和6年度	<p>車両 自動運転バス（ARMA 1台 EVO 1台） 期間 11月頃を予定 ルート 調整中</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ARMA</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>EVO</p> </div> </div>

電動キックボード

車両 | 調整中
 期間 | 自動運転実証実験期間
 場所 | ユマニテックプラザ前の自転車レーンを予定

「自動運転等実証実験」参加のお願い

7月中に企画案を募集させていただきます。
 その後8月中に市と提案者の協議を行い、実施可否を決定いたします。



令和5年度
 三岐鉄道さま（電動スクーター3台・電動アシスト自転車4台）

第10回モビリティWG 令和6年7月23日（火）

■ 令和6年度SC実装化支援事業「四日市版MaaS」の取組方針

- ・ 四日市版MaaSの在り方策定
- ・ MaaSコンテンツの拡充
- ・ 中央通り周辺の店舗連携による実証実験の実施

方針①

四日市版MaaSの在り方策定

- 四日市デジタルマップに目的地情報と移動手段、MaaS機能を一元的に表示
- 四日市データプラットフォームとの連携により、データの二次利用を促進



方針②

MaaSコンテンツの拡充

- 公共交通や駐車場との連携
- 予約システムの連携
- 複数の移動手段を利用した最短経路検索の提供

方針③

地元店舗の巻き込み

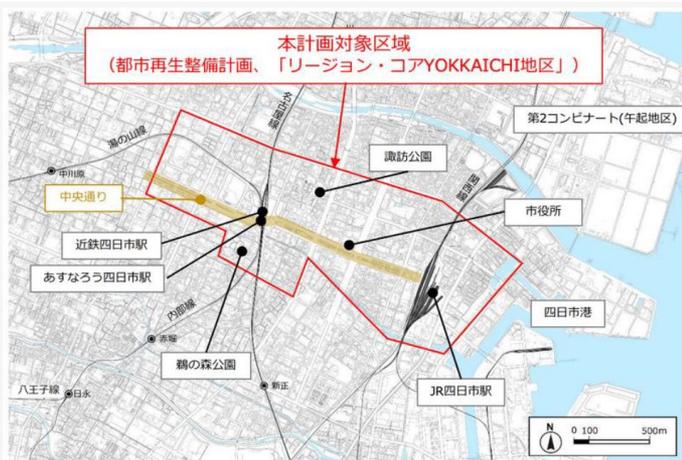
- 中央通り周辺の施設/店舗の掲載
- 周辺施設/店舗を対象としたクーポン連携

第10回モビリティWG 令和6年7月23日（火）

■ 令和6年度SC実装化支援事業「四日市版MaaS」の実証実験内容

- ・ 四日市デジタルマップにMaaS機能を実装
- ・ 四日市データプラットフォームによるMaaSデータ連携（三重交通バス/自動運転EVバス/駐車場満空情報）
- ・ 自動運転バス予約システム、電動キックボード予約システムとの連携により利用者の増加を図る
- ・ デジタルポイントラリーによるMaaS利用者の移動データ取得
- ・ 景品として商店街電子クーポン券を配布することで、地域店舗との連携を行い賑わい創出を図る

- ・ 約100か所のスポットを設置
- ・ モビリティ上にもスポット設置
- ・ モビリティ関連スポットのポイントを高くすることで、モビリティ利用機会の促進を図る
- ・ 中央付近から、離れた場所のポイントを高くすることで、回遊性の向上を図る



モビリティWG 実施報告

第10回モビリティWG 令和6年7月23日（火）

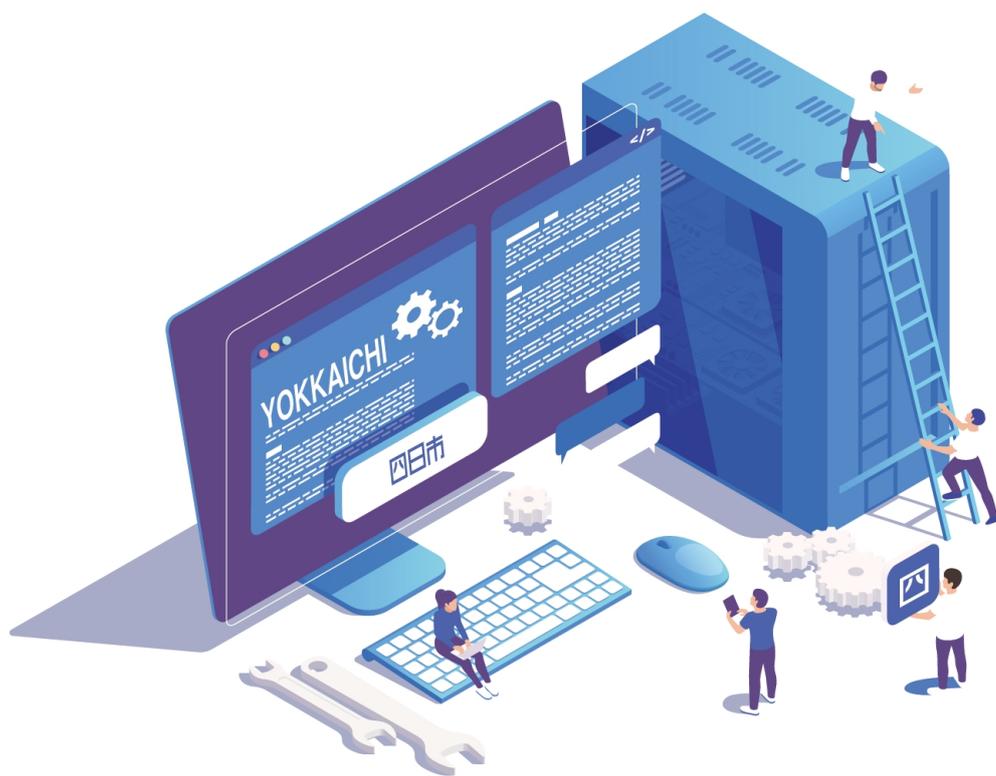
■ 「四日市版MaaS」 ロードマップ

		Phase 1-1 (R5年度)	Phase 1-2 (R6年度)	Phase 2 (R7年度)	Phase 3 (R8年度以降)
交通サービス	モビリティの予約	—	● 自動運転バスの予約機能を連携	※自動運転バスは実装されないが、将来実装されることを前提に予約機能は完成、実証期間中は稼働	● 自動運転バスの予約機能を提供 ● 新たなモビリティやライドシェアが登場する場合は適宜連携
	公共交通の場所・時刻表の表示	● (静的情報) 鉄道駅、バス停の位置・時刻表をMapに表示 ● (動的情報) 三重交通のバスの位置情報をMap表示 ※DPを介さず	● (静的情報) 鉄道駅、バス停の位置・時刻表をMap上に表示 ● (動的情報) 三重交通のバスの位置情報をDPを経由して、Map表示	● (静的情報) 鉄道駅、バス停の位置・時刻表をMap上に表示 ● (動的情報) 三重交通、三岐鉄道のバスの位置情報Map表示、DP経由で実現	● (静的情報) 鉄道駅、バス停の位置・時刻表をMap上に表示 ● (動的情報) バスの位置情報をMap表示、DP経由で実現 ● 三重交通バス、三岐鉄道等、複数社のバスロケ情報を一元的に表示する
	主要駐車場の満空情報表示	—	● RCY地区内の主要駐車場と連携した駐車場情報の提供	● 他の主要駐車場と連携した情報提供	—
	その他交通手段との連携	● こにゅうどうレンタサイクルステーションの表示	—	—	● 新たなモビリティやライドシェアが登場する場合は適宜連携
民間サービス	地域商店情報の表示	—	● 地域の飲食店情報を表示 (事業①のポータルサイト情報と連動)	● 地域の施設情報を表示 ● 表示店舗数の拡大	—
まち歩き促進サービス	イベント情報の表示	● 地域のイベント情報を表示	—	—	● 地域のイベント情報を表示 ● ポータルサイトのイベント情報と自動連携
	クーポンサービスとの連携	—	● 既存クーポンサービスとの連携検討・実施 (駐車場、飲食、交通等)	—	● 既存クーポンサービスとの連携検討・実施 (駐車場、飲食、交通等) ● ぐるなび等、外部プラットフォームとの連携
	目的地までの最適経路の表示	● Googleマップと連携し、公共交通と組み合わせた目的地への最適経路を表示	● Googleマップと連携し、公共交通と自動運転バスを組み合わせた目的地への最適経路を表示	—	—
	デジタルスタンプ (ポイント) ラリーの提供 (必要に応じて)	● デジタルスタンプラリー機能提供	● デジタルポイントラリー機能提供 ● ビジターの利用を想定した目的地・インセンティブの調整	—	—
管理者向けサービス	四日市版MaaS利用実績の蓄積・可視化	—	● DPFへの交通情報の蓄積	● DPFへの交通情報の蓄積 ● MaaS利用実績の蓄積 ● MaaS利用実績の可視化	—

YOKKAICHISHI HACKATHON

四日市市 まちづくりハッカソン

【テーマ】若者と考える！魅力あふれる四日市まちづくり



オープンデータを活用した
アプリを作って、
中心市街地の課題を解決！

四日市市まちづくりハッカソンは、本市の中心市街地で進めているスマートシティの取り組みに関連し、データを使って地域課題の解決を図るイノベーションの促進を目的に開催します。

開催日時

オープンデータ勉強会(オフライン形式)

8.10 SAT | 13:00~16:00

※ハッカソン参加予定者向けのオープンデータやアプリの作り方を事前に学べる勉強会です。

ハッカソン 1日目(オフライン形式)

8.24 SAT | 10:00~17:00

※アイデアワークショップとチームビルディングを行います。

開発期間

8.25 SUN — 8.30 日

ハッカソン 2日目(オフライン形式)

8.31 SAT | 13:00~17:00

※最終プレゼンを行っていただきます。

開催場所

8.10 SAT

じばさん5階 研修室5

8.24 SAT | 8.31 SAT

じばさん6階 展示室

四日市市地場産業振興センター じばさん
(三重県四日市市安島1-3-18) ※近鉄四日市駅から徒歩5分

参加対象

・高校生以上の個人、チーム(3~6人)

【その他】学習意欲のある方、新しいものを生み出したい方、ノートPC・スマホをご持参いただける方。
経験スキル不要。

定員

30名程度

申込方法・締切

右記QRからご応募ください。

7.17 WED — 8.17 SAT



問合せ先

〈事務局〉株式会社シー・ティー・ワイ
TEL:0120-30-6500
(月~土 ※日・祝除く9:00~17:00)
E-mail:cty_ictsol23@cty.co.jp

令和6年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会 第1回幹事会
出席者名簿

別添1

8月5日(月) 16:00~18:00
四日市商工会議所 3階 大会議室(オンライン併用)

区分	所属	氏名	出欠	随員	現地/オンライン		
幹事会 役員	有識者	東京大学 大学院 工学系研究科 教授	村山 顕人	○		オンライン	
		名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	○		現地	
		早稲田大学 大学院 創造理工学研究科 教授	有賀 隆	○		オンライン	
	交通 関係者	近畿日本鉄道(株) 名古屋統括部施設部 部長	阪田 道夫		代理出席 名古屋統括部施設部工務課 課長補佐 佐藤健介 (オンライン)		オンライン
		三重交通(株) 専務取締役	久保田 重人		代理出席 企画部 部長 小瀬古恵則		現地
		三岐鉄道(株) 自動車部 運行管理課 課長	伊藤 真郷	○			現地
		(株)三交タクシー 取締役営業部長	児玉 拓也		欠席		—
	商工関係者 大規模権利者 事業展開企業	学校法人みえ大橋学園 理事長	大橋 正行		代理出席 専門学校設置準備室 室長 伊藤 和泉		現地
		(株)近鉄百貨店 営業推進部 マネージャー	木室 康弘	○			オンライン
		四日市商工会議所 専務理事	山下 二三夫	○			現地
		(株)ティア四日市 代表取締役社長	鈴木 主計	○			現地
		近鉄グループホールディングス(株) 総合政策部 企画開発室 部長	北島 肇	○		総合政策部 企画開発室 係長 今井 健太(オンライン)	現地
		近鉄不動産(株) 名古屋事業本部賃貸事業部 部長	吉田 健	○			オンライン
		(株)シー・ティー・ワイ 取締役 ICTソリューション推進部 部長	安達 勝也	○		ICTソリューション推進部 次長 山本 龍太郎 (現地)	現地
		(株)三十三銀行 執行役員 営業企画部 部長	中尾 淳		代理出席 営業企画部 企画役 脇内 一仁		オンライン
		中部電力(株) 事業創造本部 部長	黒木 信彦	○		価値共創ユニット 白江 真二(オンライン)	オンライン
	行政	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 副所長	毛利 勇		欠席		—
		三重県 県土整備部 都市政策課 副課長	岡田 健	○		都市政策課 街路・公園班 主幹兼係長 下村満広 技師 左橋直也 技師 上林莉緒 (オンライン)	オンライン
		四日市市 副市長	舘 英次	○			現地
	賛助会員	(株)日建設計 都市・社会基盤部門 CM測量部長	中村 出	○			現地
		早稲田大学 大学院 創造理工学研究科 助教	小松 萌	○			オンライン
(株)マクニカ インノベーション戦略事業本部 スマートシティ&モビリティ事業部 スマートモビリティ事業推進部 部長		福田 泰之	○		CPSソリューション開発部 部長 小出 優(オンライン) スマートモビリティ事業推進部 第1課 課長 島田 真史(オンライン)	現地	
オブザー バー	行政	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官	崎谷 唯比古	○		オンライン	
		国土交通省 都市局 街路交通施設課 係長	本田 悠馬	○		オンライン	
		国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 都市交通係長	櫻林 哲也	○		オンライン	
		国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課 デジタル情報活用推 進室 専門調査官	坂口 正樹		欠席		—
		国土交通省 中部地方整備局 建設部 都市整備課 課長	後藤 直紀	○			オンライン
		国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課 専門官	田中 秀和	○			オンライン
		国土交通省 中部運輸局 三重運輸支局 首席運輸企画専門官	小島 光洋	○			現地

事務局	行政	四日市市 政策推進部	部長 荒木 秀則	
		四日市市 政策推進部 政策推進課	政策推進監 櫻井 晴泰	
		四日市市 総務部 デジタル戦略課	課長 林 雄士	
		四日市市 政策推進部 広報マーケティング課	課長 加藤 亜希	
		四日市市 危機管理統括部 危機管理課	課長 後藤 明彦	
		四日市市 危機管理統括部 危機管理課	危機管理企画GL 中村 英樹	※オンライン
		四日市市 シティプロモーション部 観光交流課	課長 大橋 剛	
		四日市市 商工農水部 商業労政課	課長 秦 昌洋	※オンライン
		四日市市 環境部 環境政策課	課長 赤堀 剛寛	
		四日市市 都市整備部 都市計画課	副参事・計画GL 橋本 幹人	
		四日市市 都市整備部 都市計画課	公共交通推進室長 藤田 貴	
		四日市市 都市整備部 市街地整備課	課長 戸本 直弥	
		四日市市 都市整備部 市街地整備課	副参事 伊藤 直人	

令和6年度第1回四日市スマートリージョン・コア推進協議会 幹事会 席次表

令和6年8月5日(月) 16:00~18:00

四日市商工会議所 3階 大会議室 (オンライン併用)

スクリーン

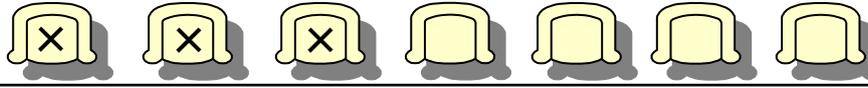
有識者
松本 幸正

日建設計

日建設計
総合研究所

四日市市
政策推進部

事務局



㈱シー・ティ・ワイ
ICTソリューション推進部
次長
山本 龍太郎

㈱シー・ティ・ワイ
取締役 ICTソリューション推進部
部長
安達 勝也

プロジェクター

三重交通㈱
専務取締役
久保田 重人
(代理:企画部 部長
小瀬古忠則)

㈱日建設計
都市・社会基盤部門
CM測量部長
中村 出

近鉄グループホールディングス㈱
総合政策部 企画開発室 部長
北畠 肇

三岐鉄道㈱
自動車部 運行管理課
課長
伊藤 真郷

㈱マクニカ
イノベーション戦略事業本部
スマートシティ
&モビリティ事業部
スマートモビリティ
事業推進部 部長
福田 泰之

㈱ディア四日市
代表取締役社長
鈴木 主計

四日市商工会議所
専務理事
山下 二三夫

随
行
者

学校法人みえ大橋学園
理事長 大橋正行
(代理: 専門学校設置準備室
室長 伊藤 和泉)

四日市市
副市長
館 英次

国土交通省
中部運輸局
三重運輸支局
首席運輸企画専門官
小島 光洋

随
行
者

事務局

四日市市
タイプモーション部
観光交流課
課長

四日市市
危機管理統括部
危機管理課
課長

四日市市
総務部
デジタル戦略課
課長

四日市市
政策推進部
広報マナー課
課長

四日市市
政策推進部
部長

四日市市
環境部
環境政策課
課長

四日市市
都市整備部
都市計画課
副参事

四日市市
都市整備部
市街地整備課
課長

四日市市
都市整備部
市街地整備課
副参事

関係者

四日市市
都市整備部
都市計画課
公共交通推進室長

出
入
り
口

+※ WEB参加者については、【別添1:出席者名簿】を参照ください